

消防年報

令和元年版

(令和2年6月1日発行)



峡北広域行政事務組合消防本部

は し が き

この年報は、令和元年中の峡北広域行政事務組合消防本部における消防の現況及び消防組織等の概要と消防力の現勢を示す統計資料を収録したものであり、今後における消防行政推進のための資料としてご利用いただければ幸いと存じます。

なお、統計資料は原則として暦年で、人事・予算関係については会計年度で収録してあります。

令和2年6月

峡北広域行政事務組合消防本部

目 次

総務関係

沿革	1
消防本部等位置図 / 消防力現勢	13
組織機構	14
事務分掌	15
階級別人員配置表 / 実員の変遷	18
階級別勤続年数表	19
階級別・年齢別構成表	20
免許取得調	21
施設 / 消防車両・装備	22
現有車両一覧表	23
予算	24
予算額の推移、予算使途別比較	25
世帯数、人口に対する消防予算概況	26

予防関係

防火対象物数及び査察状況	27
防火対象物定期点検報告・特例認定処理状況 防火基準適合表示制度に係る表示マーク交付状況	28
建築物階層別一覧表 / 防火管理者設置状況	29
建築確認同意件数	30
消防用設備等設置状況	31
火災予防条例に規定する届出処理件数	32
防火管理者資格付与講習会修了証交付状況 用途別防火管理者資格付与状況 防火管理者資格付与再講習会修了証交付状況	33
危険物規制対象物数	34
危険物関係事務処理状況	35
数量別危険物貯蔵所等の数	36

警防関係

令和元年中における火災の概要	37
令和元年中の出動件数	38
管内火災内訳一覧表	39
火災状況総括表(過去10年)	40
月別火災発生件数	41
曜日別火災発生件数	42

出火時間別火災発生件数	43
出火原因別火災発生状況	44

救急関係

令和元年中における救急の概要	45
市別・事故別救急出動件数	46
月別救急活動状況(出動件数と搬送人員)	47
時間別救急出動件数	48
医療機関別搬送人員状況	49

救助関係

市別・事故別救助出動件数	50
救助活動のための機械器具等の保有状況	51

通信関係

119番受信状況	52
月別テレホンガイド利用状況	53
消防通信系統図	54
消防救急デジタル無線システム系統図 / 消防無線配置状況	55

気象関係

警報・注意報等発表状況	56
気象状況調	57

その他

署所別業務概要	58
---------	----

総務関係

沿革

昭和44年5月	峡北地区広域行政事務研究会において、広域消防についての検討を開始
10月	市及び郡町村会並びに各消防団関係者合同による広域消防計画の細部検討に入る
12月	峡北地区消防組織整備推進協議会が発足し、広域常備消防設置について本格的準備に入る
昭和45年2月	一部事務組合設立認可申請の準備
3月23日	峡北地区消防組合認可
4月1日	消防本部設置、初代消防長に長沼正臣就任
4月17日	政令指定となる
4月28日	峡北地区消防組合発足式典
9月30日	庁舎起工式(1本部、2署、3分署)
昭和46年3月26日	竣工、車両入魂、記念式典
3月29日	消防団との出動細目協定調印式
4月1日	業務実動開始 消防職員(定数94人、実員76人) 車両(ポンプ車6台、救急車3台、指令車5台、本部車1台) 通信施設(指令専用電話5、無線〈移動15、携帯8〉、加入電話7)
8月	多様化する救急業務に対処するため各分署の指令車を救急車として改造、救急体制を充実強化
昭和47年8月	複雑多岐の各種人命損傷事故に対処するため葦崎、長坂両消防署に救助工作車を配備
9月26日	第2代消防長に内藤重治就任
12月	危険物施設等の災害対策として化学車を購入

昭和49年1月	地域発展に伴う中層ビル等の災害に対処するため18m級はしご付消防ポンプ自動車を購入、葦崎消防署に配備
3月	山林火災防ぎょ策として軽量小型ポンプ5台、ジェットシューター50台を購入し、葦崎、長坂両消防署へ各配備
4月1日	消防職員の実員79人
昭和50年4月1日	消防職員の実員81人
8月7日	山梨県農業共済連合会から救急車1台寄贈を受け、葦崎消防署白州分署に配備
9月1日	山梨県農業共済連合会から救急車1台寄贈を受け、葦崎消防署須玉分署に配備
昭和51年3月25日	消防職員の体力錬成、技術の向上等を図るため本部庁舎の隣接地に訓練場建設用地を購入
4月1日	消防職員の実員80人
昭和52年2月27日	救助訓練塔建設工事着工
4月1日	消防職員の実員87人
5月20日	救助訓練塔、補助塔及び器材倉庫等工事完成
7月8日	日本消防協会から広報車1台の寄贈を受け、本部警防課に配備
9月1日	中央自動車道の救急対策として、長坂消防署小淵沢分遣所の新設工事着工
9月13日	日本損害保険協会から救急車1台の寄贈を受け、長坂消防署高根分署に配備
12月12日	日本損害保険協会から救急車1台の寄贈を受け、長坂消防署小淵沢分遣所に配備
12月17日	長坂消防署小淵沢分遣所竣工式、実動開始
昭和53年3月15日	ウインチ、クレーン長距離照明付き新鋭救助工作車を購入、葦崎消防署に配備

昭和54年2月13日	消防ポンプ自動車2台更新、葦崎、長坂両消防署に各配備
2月20日	消防指令車2台を購入、葦崎、長坂両消防署に各配備
3月19日	救急車1台更新、葦崎消防署に配備
4月1日	消防職員の実員93人
10月25日	葦崎消防署白州分署敷地へ空気充填庫設置
昭和55年3月26日	救助工作車新規購入、長坂消防署に配備
3月31日	本部指令車更新
4月1日	消防職員の実員93人
4月26日	長坂消防署訓練場用地購入
11月6日	峡北地区消防組合発足10周年記念式典
昭和56年3月20日	長坂消防署車庫増築　長坂消防署訓練塔A・B塔工事完成
3月23日	中央自動車道消防相互応援協定締結(小淵沢～伊北)
3月25日	日本損害保険協会から救急車1台の寄贈を受け、葦崎消防署に配備
3月30日	小型動力ポンプ付水槽車購入、葦崎消防署に配備
3月31日	全国共通波専用基地局を長坂消防署小淵沢分遣所に設置 大型救急車1台購入、葦崎消防署に配備
4月1日	消防職員の実員93人
6月22日	長坂消防署訓練塔C塔完成

昭和57年1月29日	消防ポンプ自動車1台更新、葦崎消防署須玉分署に配備
2月15日	飲料水兼用耐震性貯水槽(100t)及び葦崎消防署車庫竣工
3月23日	日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け、葦崎消防署白州分署に配備
3月25日	電源車1台購入、葦崎消防署に配備
3月29日	双葉バイパス通過に伴い葦崎消防署訓練場を移転、新築
3月31日	峡北地区消防組合解散
4月1日	峡北地区消防組合、峡北広域市町村圏協議会、葦崎市外五町村衛生組合、葦崎市外十町村環境衛生組合及び葦崎市外九町村隔離病舎組合の事務を共同処理するため、複合的一部事務組合(峡北広域行政事務組合)を設立 第3代消防長に功刀吉彦就任 消防職員の実員89人
10月24日	消防本部庁舎増築工事及び消防救急通信指令システム設置工事着工
昭和58年2月23日	指令車2台更新、葦崎消防署須玉分署及び白州分署に各配備
3月20日	耐震構造の消防本部庁舎増築工事及び最新電子技術を結集した消防救急通信指令システム設置工事完成
3月24日	消防ポンプ自動車1台更新、長坂消防署高根分署に配備
4月1日	消防職員の実員93人
5月21日	本部総務課指令車更新
6月28日	指令車1台更新、長坂消防署小淵沢分遣所に配備
11月21日	化学消防ポンプ自動車1台更新、葦崎消防署に配備
昭和59年2月27日	救急車1台更新、長坂消防署高根分署に配備
3月31日	指令車2台更新、葦崎消防署及び長坂消防署高根分署に各配備

4月1日	消防職員の実員94人
10月29日	救急車1台更新、葦崎消防署須玉分署に配備
12月27日	諏訪南行政事務組合と消防相互応援協定締結
昭和60年3月31日	本部と穴山基地局間多重無線化工事完了
11月14日	中央自動車道大型2階建バス事故(10月5日)の救急及び救助活動に対して、知事より感謝状を受ける
11月19日	日本防火協会から防火広報車1台の寄贈を受け、消防本部に配備
12月7日	救急車(四輪駆動車) 1台更新、長坂消防署小淵沢分遣所に配備
12月18日	中央自動車道大型2階建バス事故(10月5日)の救急及び救助活動に対して、消防庁長官より表彰状を受ける
昭和61年2月27日	小型動力ポンプ付水槽車1台購入、長坂消防署に配備
4月1日	第4代消防長に花輪和夫就任 消防職員の実員93人
6月27日	予防連絡車1台購入、消防本部に配備
9月26日	ミニ消防ポンプ自動車「赤とんぼ号」の寄贈を受け、葦崎消防署に配備
11月12日	消防職員の定数を97人とする
昭和62年4月1日	消防職員の実員97人
8月10日	日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、葦崎消防署に配備
昭和63年4月1日	第5代消防長に横内実男就任 消防職員の実員97人
平成元年2月23日	緊急資材輸送用トラック購入、葦崎消防署に配備

4月1日	消防職員の実員95人
平成2年3月30日	20m級はしご付消防ポンプ自動車1台更新、葦崎消防署に配備
4月1日	消防職員の実員97人
7月1日	清里夏季救急分駐所竣工式、実動開始
平成3年2月19日	救急車1台更新、長坂消防署に配備
3月30日	消防ポンプ自動車1台更新、葦崎消防署に配備 指令車1台更新、長坂消防署に配備
4月1日	ふれあいペンダント(緊急通報システム)事業、実動開始 消防職員の実員97人
平成4年2月21日	日本自動車工業会から救急車1台の寄贈を受け、葦崎消防署白州分署に配備
3月3日	消防職員の定数を103人とする
3月27日	消防ポンプ自動車1台更新、長坂消防署に配備
4月1日	第6代消防長に上野武雄就任 消防職員の実員96人
9月25日	指令車1台更新、防災指導課に配備
平成5年3月15日	救急車2台更新、葦崎消防署及び長坂消防署高根分署に各配備
3月30日	葦崎消防署庁舎増改築工事(事務室24.79㎡、休憩室・仮眠室113.17㎡)完成
4月1日	消防職員の実員101人
10月25日	日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、長坂消防署小淵沢分遣所に配備
平成6年3月10日	救急車1台更新、葦崎消防署須玉分署に配備

3月25日	長坂消防署庁舎増改築工事(事務室37.442㎡)完成
4月1日	消防職員の実員101人
8月8日	山梨県遊技業協同組合から指令車1台の寄贈を受け、消防本部に配備
平成7年1月13日	消防ポンプ自動車1台更新、韮崎消防署須玉分署に配備
1月20日	韮崎消防署訓練塔C塔改修工事完成
1月31日	長坂消防署訓練塔A・B・C塔改修工事完成
2月9日	救助工作車1台更新、韮崎消防署に配備
3月10日	消防職員の定数を110人とする 韮崎消防署須玉分署庁舎増改築工事(事務室29.995㎡)完成
4月1日	消防職員の実員103人
6月14日	指令車1台更新、消防本部に配備
10月9日	救急車1台更新、韮崎消防署に配備
平成8年1月19日	消防ポンプ自動車1台更新、長坂消防署高根分署に配備
2月16日	指令車2台更新、韮崎消防署須玉分署及び白州分署に各配備
2月20日	韮崎消防署白州分署庁舎増改築工事(事務室・食堂47.425㎡)完成 長坂消防署高根分署庁舎増改築工事(事務室・食堂47.425㎡)完成
4月1日	消防職員の実員104人
4月30日	指令車1台更新、長坂消防署高根分署に配備
11月14日	甲府商工信用金庫から救急車1台の寄贈を受け、長坂消防署に配備

12月6日	消防ポンプ自動車1台更新、葦崎消防署白州分署に配備
12月15日	長坂消防署小淵沢分遣所庁舎増改築工事(事務室、仮眠室等31.605㎡)完成
平成9年4月1日	消防職員の実員106人
平成10年1月22日	高規格救急車1台更新、葦崎消防署に配備
4月1日	第7代消防長に真壁静夫就任 消防職員の実員108人
6月30日	消防緊急通信指令システム更新設置工事着工
12月14日	救助工作車1台更新、長坂消防署に配備
平成11年2月24日	最新鋭コンピューターシステムを駆使した消防緊急通信指令施設設置工事完成
4月1日	消防職員の実員109人
10月20日	高規格救急車1台購入、長坂消防署に配備
平成12年4月1日	第8代消防長に斉藤實就任 消防職員の実員108人
9月28日	救急車1台更新、葦崎消防署白州分署に配備
平成13年3月22日	小型動力ポンプ付水槽車1台更新、葦崎消防署に配備
4月1日	第9代消防長に深谷卓就任 消防職員の実員110人
平成14年2月7日	日本消防協会から指令車1台の寄贈を受け、防災指導課に配備
2月20日	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、葦崎消防署に配備
3月6日	マイクロ回線装置設置工事着工

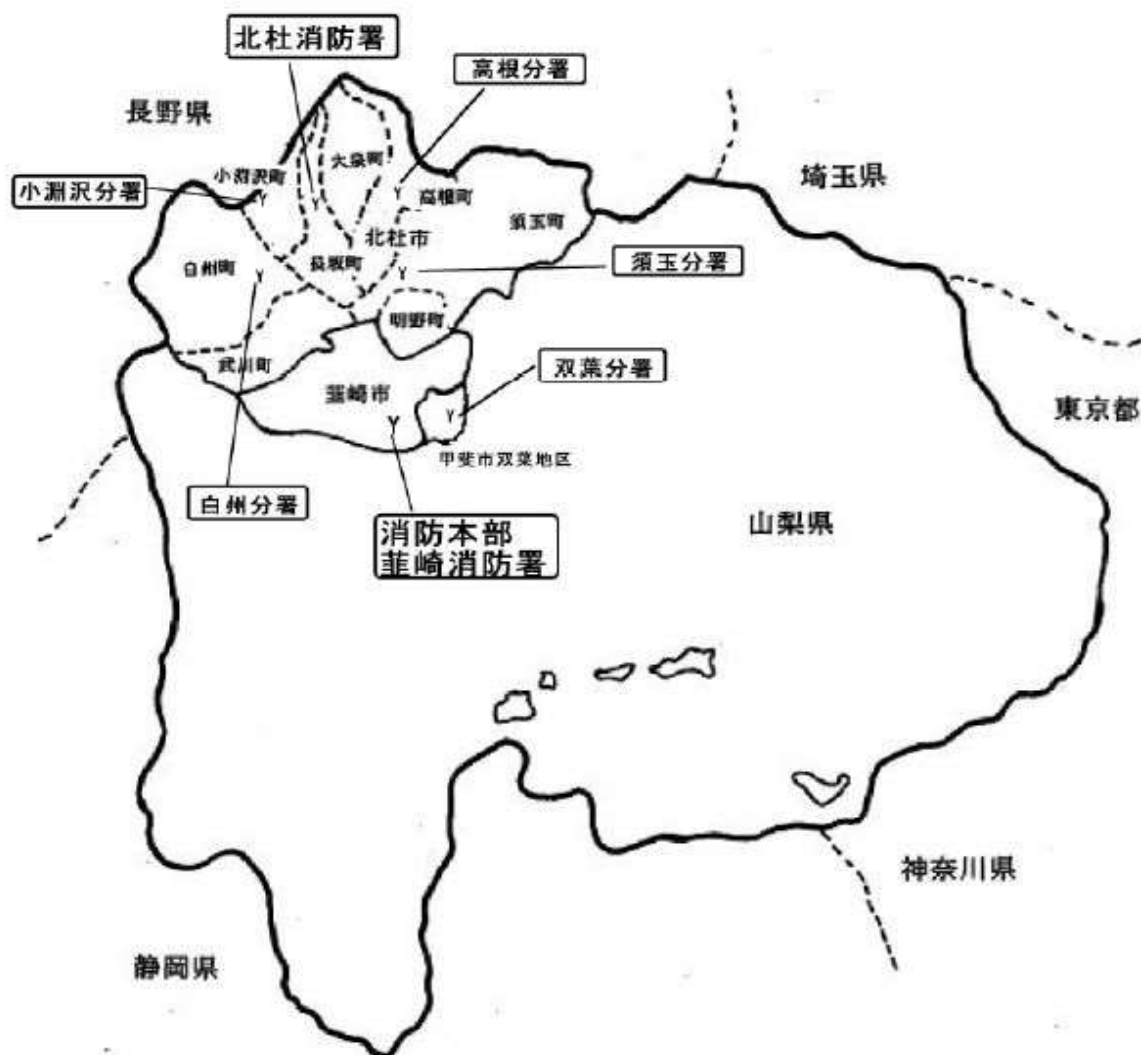
3月23日	葦崎消防署白州分署空気充填設備取替工事完成
4月1日	消防職員の実員110人
9月30日	マイクロ回線装置設置工事完成
10月31日	小型動力ポンプ付水槽車1台更新、長坂消防署に配備
11月27日	救急車1台更新、長坂消防署高根分署に配備
平成15年4月1日	消防職員の実員110人
9月3日	救急車1台更新、長坂消防署小淵沢分遣所に配備
平成16年4月1日	第10代消防長に浅川晃就任 消防職員の実員109人
11月30日	高規格救急車1台購入、葦崎消防署須玉分署に配備 ふれあいペンダント(緊急通報システム)設備機器更新
平成17年4月1日	第11代消防長に中田洋藏就任 消防職員の実員110人
10月11日	指令車1台更新、長坂消防署に配備
平成18年2月20日	救急車1台更新、葦崎消防署に配備
3月23日	消防ポンプ自動車1台更新、葦崎消防署に配備
平成19年4月1日	第12代消防長に長坂治男就任 消防職員の実員110人
10月24日	指令車1台更新、予防課に配備
平成20年3月22日	高規格救急車1台更新、葦崎消防署に配備
3月27日	消防ポンプ自動車1台更新、長坂消防署に配備

3月28日	消防職員の定数を113人とする
4月1日	第13代消防長に清水元義就任 消防職員の実員113人 大規模及び局地的災害対応訓練のため葦崎消防署訓練場改修
10月22日	高規格救急車1台更新、長坂消防署に配備
平成21年2月27日	峡北広域行政事務組合ホームページ開設
4月1日	第14代消防長に樋口正幸就任 消防職員の定数を110人とする 消防職員の実員110人
8月17日	本部連絡車1台更新、消防本部に配備
平成22年2月4日	全国消防人共済会から防災活動車1台の寄贈を受け、防災指導課に配備
3月30日	高規格救急車1台更新、白州分署に配備
4月1日	消防職員の定数を120人とする 消防職員の実員113人 防災指導課の名称を管理課に変更
7月30日	葦崎消防署訓練場に災害対応大型車庫工事完成
10月1日	救急車1台を指揮車に用途変更、葦崎消防署に配備
12月15日	高規格救急車1台更新、高根分署に配備
平成23年2月28日	葦崎消防署訓練場舗装工事完成
3月1日	緊急消防援助隊の活動及び訓練等災害現場後方支援活動体制の充実強化のため、総務省消防庁から災害支援車Ⅰ型を無償貸与され、運用開始
4月1日	第15代消防長に清水敏彦就任 消防職員の定数を126人とする 消防職員の実員119人 長坂消防署の名称を北杜消防署に変更 北杜消防署小淵沢分遣所を北杜消防署小淵沢分署に名称変更
平成24年3月19日	水槽付消防ポンプ自動車1台購入 消防ポンプ自動車1台更新、北杜消防署小淵沢分署に配備
4月1日	消防職員の実員126人 管理課の名称を消防課に変更

平成25年2月1日	日本損害保険協会から高規格救急車1台の寄贈を受け、葦崎消防署双葉分署に配備 葦崎消防署双葉分署開所式、実働開始
4月1日	第16代消防長に下村貞俊就任 消防職員の実員121人
11月20日	予防査察車1台購入、消防本部に配備
平成26年3月6日	消防救急無線デジタル整備工事完成
4月1日	消防職員の実員121人 通信救急課の名称を指令課に変更
12月3日	消防ポンプ自動車1台更新、葦崎消防署須玉分署に配備
12月9日	救助工作車1台更新、葦崎消防署に配備
12月19日	高規格救急車1台更新、北杜消防署小淵沢分署に配備
平成27年4月1日	消防職員の実員124人 峡北広域行政事務組合ホームページリニューアル
11月19日	消防ポンプ自動車1台更新、北杜消防署高根分署に配備
平成28年1月18日	高規格救急車1台更新、葦崎消防署須玉分署に配備
3月28日	消防本部・葦崎消防署新庁舎建設工事着工
4月1日	消防職員の実員121人
平成29年1月24日	高規格救急車1台更新、葦崎消防署に配備
3月2日	指揮車1台購入、消防課に配備
3月25日	消防本部・葦崎消防署新庁舎建設工事(延床面積 2,959㎡(訓練塔除く。))完成
4月1日	消防職員の実員122人

4月17日	消防本部・葦崎消防署新庁舎竣工式
5月18日	消防本部・葦崎消防署、新庁舎にて実働開始
7月28日	ボートトレーラー1台購入、消防本部に配備
平成30年1月30日	高規格救急車1台更新、北杜消防署に配備
3月22日	消防ポンプ自動車1台更新、葦崎消防署白州分署に配備
4月1日	消防職員の実員125名
11月5日	救助工作車1台更新、北杜消防署に配備
平成31年2月15日	高規格救急車1台更新、葦崎消防署に配備
4月1日	第17代消防長に井出良司就任 消防職員の実員125名
令和元年10月1日	資器材搬送車1台購入、消防本部に配備
令和2年3月6日	高規格救急車1台更新、北杜消防署高根分署に配備
4月1日	消防職員の実員125人

消防本部等位置図

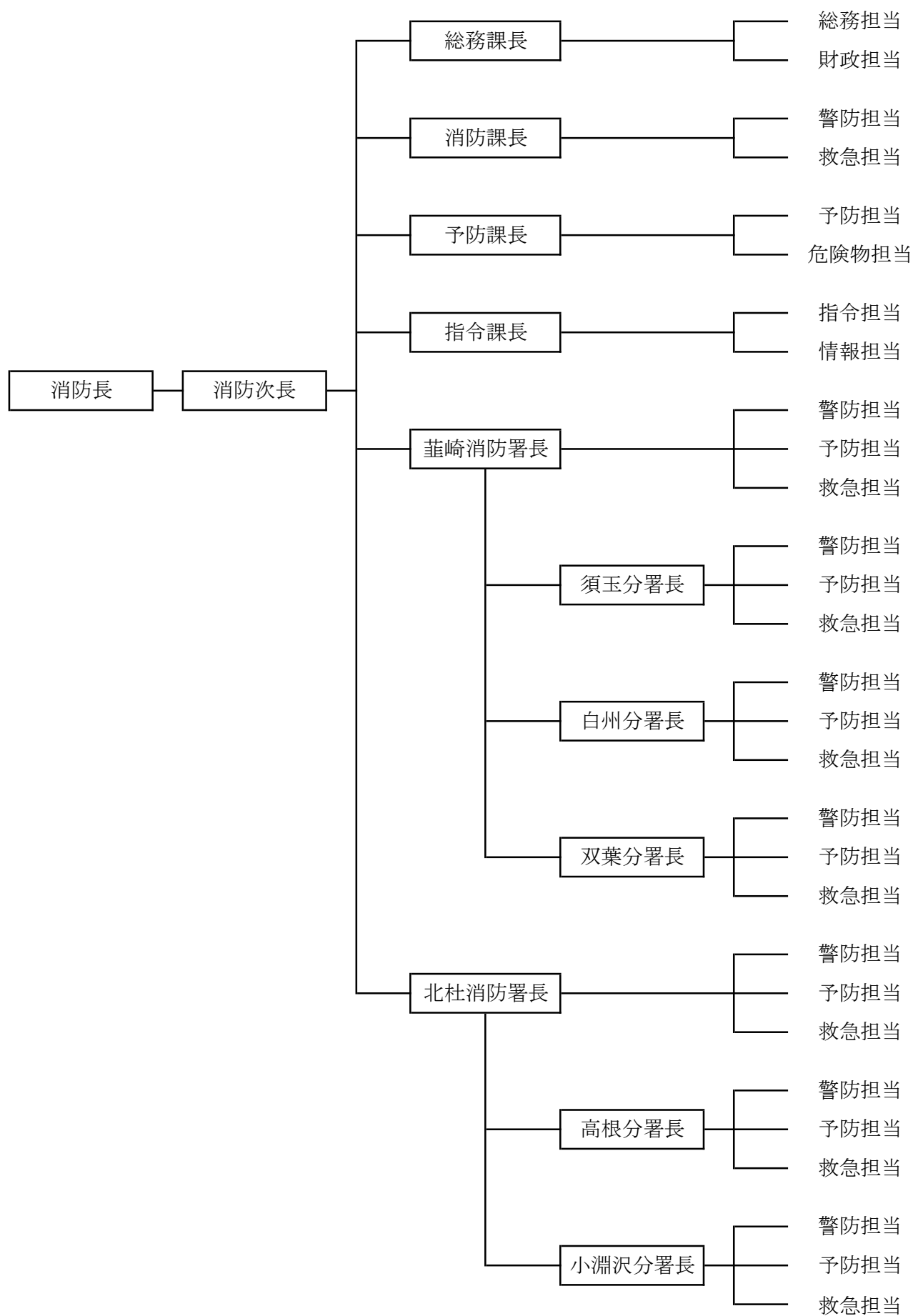


消防力現勢

(令和2年4月1日現在 住民基本台帳)

市別	区分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (戸)	消防団員数 (人)	消防ポンプ 自動車台数 (台)	小型ポンプ 積載車台数 (台)
葦崎市		143.69	29,124	12,652	718	12	39
北杜市		602.48	46,421	21,421	1,730	12	105
甲斐市(旧双葉町)		18.86	16,581	6,948	156	2	7
合計		765.03	92,126	41,021	2,604	26	151

組織機構



課の事務分掌

共通		1 予算執行に関すること。 2 企画、調査、統計、証明、報告等に関すること。 3 文書の収受、発送、処理及び保管に関すること。 4 条例、規則、規程等の発案に関すること。 5 所属職員の時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当及び管理職員特別勤務手当の集計及び報告に関すること。 6 関係機関及び関係諸団体との連絡、調整及び協力に関すること。
総務課	総務担当	1 職制及び例規に関すること。 2 儀式及び表彰に関すること。 3 公印の管理に関すること。 4 文書事務の統括に関すること。 5 消防職員の任免、分限、懲戒、服務その他身分に関すること。 6 消防職員の定数、配置、人事評価その他人事管理に関すること。 7 消防職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。 8 消防職員の研修に関すること。 9 消防職員の公務災害補償に関すること。 10 広報広聴に関すること。 11 消防職員の衛生管理、安全管理及び福利厚生に関すること。 12 消防年報の編集発行に関すること。 13 消防職員委員会に関すること。 14 消防職員の給与品、貸与品その他服制に関すること。 15 消防本具の事業の調整及び連絡に関すること。 16 消防庁舎及び消防施設の整備に関すること。 17 課の庶務に関すること。 18 他の課の主管に属さないこと。
	財政担当	1 予算及び決算に関すること。 2 予算の編成及び執行管理に関すること。 3 公有財産の取得、管理及び処分に関すること。 4 消防車両の事故対応に係る総合調整に関すること。 5 物品の調達、管理及び処分に関すること。 6 消防財政計画に関すること。 7 消防庁舎及び消防施設の維持管理に関すること。 8 消防車両の車検及び法定点検に関すること。
消防課	警防担当	1 火災等の防御及び警戒に関すること。 2 消防本部消防計画に関すること。 3 車両及び資機材の配備及び維持管理(消防車両の車検及び法定点検を除く。)に関すること。 4 消防隊員の教育訓練及び研修に関すること。 5 災害対策に関すること。 6 消防本部救助隊の運用に関すること。 7 緊急消防援助隊の運用に関すること。 8 消防相互応援協定及び受援に関すること。 9 警防及び救助業務の企画運営並びに技術訓練等の指導計画に関すること。 10 救助統計に関すること。 11 消防協会及び消防協力会に関すること。

		12 その他警防及び救助に関すること。 13 課の庶務に関すること。
消防課	救急担当	1 救急業務の企画運営に関すること。 2 メディカルコントロール体制に関すること。 3 救急、訓練等の指導計画に関すること。 4 救急資器材の整備及び管理に関すること。 5 救急統計に関すること。 6 その他救急に関すること。
予防課	予防担当	1 火災予防の指導、啓発及び広報に関すること。 2 防火対象物の査察及び違反処理に関すること。 3 防火及び防災管理者に関すること。 4 自衛消防組織に関すること。 5 建築確認の同意に関すること。 6 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。 7 消防用設備等の基準の特例に関すること。 8 消防法令の適合通知に関すること。 9 予防統計に関すること。 10 火災統計に関すること。 11 火災予防条例等の規制に関すること。 12 幼少年女性防火委員会に関すること。 13 課の庶務に関すること。 14 その他予防に関すること。
	危険物担当	1 危険物製造所等の許認可及び検査に関すること。 2 危険物保安統括管理者、危険物保安監督者、危険物取扱者及び危険物施設保安員に関すること。 3 電気設備及び電気用品の保安に関すること。 4 危険物施設の査察及び違反処理に関すること。 5 火災、危険物製造所等の災害調査に関すること。 6 液化石油ガスの保安に関すること。 7 危険物統計に関すること。 8 危険物安全協会に関すること。
指令課	指令担当	1 災害情報の受信及び出場指令に関すること。 2 消防通信の運用、通信統制及び指導に関すること。 3 通信記録の保全に関すること。 4 課の庶務に関すること。
	情報担当	1 消防通信施設の維持管理に関すること。 2 消防通信施設の企画及び調整に関すること。 3 気象観測、気象情報、火災警報等に関すること。 4 災害情報の収集及び提供に関すること。 5 災害速報及び災害日報に関すること。 6 地水利の情報管理に関すること。 7 その他通信機器に関すること。

消防署の事務分掌

消 防 署	共 通	1 企画、調査、統計、報告等に関する事。 2 文書の收受、発送、処理及び保管に関する事。 3 安全管理に関する事。 4 所属職員の教養、訓練及び研修に関する事。 5 庁舎及び物品の管理に関する事。 6 関係機関及び関係諸団体との連絡、調整及び協力に関する事。
	警 防 担 当	1 火災等の警防及び対策に関する事。 2 地水利の調査に関する事。 3 消防通信に関する事。 4 消防団及び地域の自主防災組織等の指導に関する事。 5 消防機械器具の維持管理に関する事。 6 火災の原因及び損害調査に関する事。 7 救助活動に関する事。 8 り災証明に関する事。(分署は除く。) 9 公印の管理に関する事。(分署は除く。) 10 職員の勤務及び配置に関する事。 11 職員の衛生管理及び福利厚生に関する事。 12 施設及び備品の維持管理に関する事。 13 職員の時間外勤務手当、休日勤務手当、夜間勤務手当及び管理職員特別勤務手当の集計及び報告に関する事。 14 消防署(分署にあつては分署)の庶務に関する事。 15 他の担当に属さない事項に関する事。
	予 防 担 当	1 建築確認等の同意事務に関する事。 2 防火対象物の査察、立入検査、違反調査及び防災管理点検報告に関する事。 3 消防用設備等の設置指導、検査、点検報告等の届出に関する事。 4 指定数量未満の危険物及び指定可燃物に関する事。 5 防火、防災管理者、消防計画等の届出に関する事。 6 液化石油ガスの保安に関する事。 7 電気設備及び電気用品の保安に関する事。 8 火災予防条例に基づく各種届出及び検査に関する事。 9 火災予防の指導、啓発及び広報に関する事。 10 その他予防に関する事。
	救 急 担 当	1 救急業務に関する事。 2 応急手当の普及啓発に関する事。 3 救急資器材等の管理に関する事。 4 救急搬送証明に関する事。(分署は除く。) 5 その他救急に関する事。

階級別人員配置表

(令和2年4月1日現在)(単位:人)()内は兼職

階級 区分		計	消防士	消防 副士長	消防 士長	消防 司令補	消防 司令	消防 司令長	消防監
実員		124	22	33	29	18	16	5	1
消防 本部	消防長	1							1
	次長	1						1	
	総務課	8	2	1	3		2		
	消防課	3			1	1	1	(1)	
	予防課	4			1	1	1	1	
	指令課	9	2	2	2	2		1	
韮崎 消防署	本署	31	8	5	7	4	6	1	
	須玉分署	9	1	5	1	2			
	白州分署	9	2	2	4	1			
	双葉分署	9	1	4	2	2			
北杜 消防署	本署	22	4	6	2	3	6	1	
	高根分署	9	1	4	3	1			
	小淵沢分署	9	1	4	3	1			

※消防課、予防課、指令課、韮崎消防署、北杜消防署に再任用職員各1名、計5名を配置

消防吏員実員の変遷

(単位:人)

階級 年度別		計	消防士	消防 副士長	消防 士長	消防 司令補	消防 司令	消防 司令長	消防監
平成17年度		110	17	23	15	17	33	4	1
平成18年度		110	13	27	15	14	35	5	1
平成19年度		110	14	29	15	16	28	7	1
平成20年度		113	16	27	18	12	31	8	1
平成21年度		110	21	23	20	17	21	9	1
平成22年度		113	21	24	20	17	21	9	1
平成23年度		119	23	25	21	11	26	12	1
平成24年度		126	32	24	22	11	26	10	1
平成25年度		121	33	28	21	12	21	5	1
平成26年度		121	28	30	25	12	19	6	1
平成27年度		123	23	32	28	11	20	8	1
平成28年度		120	25	27	30	14	18	5	1
平成29年度		121	26	28	26	17	18	5	1
平成30年度		124	30	30	24	17	17	5	1
令和元年度		124	22	33	29	18	16	5	1

階級別勤続年数表

(令和2年4月1日現在)(単位:人)

階級 年数	計	消防士	消防 副士長	消防 士長	消防 司令補	消防 司令	消防 司令長	消防監
0年	2	2						
1年	6	5						1
2年	7	7						
3年	4	3	1					
4年	4	3	1					
5年	2		2					
6年	1		1					
7年	5	2	3					
8年	8		8					
9年	8		8					
10年	5		4	1				
11年	5		5					
12年	5			5				
13年	5			5				
14年	1			1				
15年	1			1				
16年	5			5				
17年	1			1				
18年								
19年	4			4				
20年								
21年	4			3	1			
22年	1			1				
23年	4			2	2			
24年	2				2			
25年	1				1			
26年	5				4	1		
27年	5				5			
28年	3				2	1		
29年	1					1		
30年	1					1		
31年								
32年	2					2		
33年	5				1	4		
34年								
35年								
36年	3					3		
37年	6					2	4	
38年								
39年								
40年								
41年	2					1	1	
合計人数	124	22	33	29	18	16	5	1

階級別・年齢別構成表

(令和2年4月1日現在)(単位:人)

階級 年齢	計	消防士	消防 副士長	消防 士長	消防 司令補	消防 司令	消防 司令長	消防監
18歳	2	2						
19歳	1	1						
20歳	2	2						
21歳	2	2						
22歳	4	4						
23歳	3	3						
24歳	4	4						
25歳	4	3	1					
26歳	2		2					
27歳	2		2					
28歳	4	1	3					
29歳	7		7					
30歳	3		3					
31歳	2		2					
32歳	5		5					
33歳	3		3					
34歳	7		4	3				
35歳	5		1	4				
36歳	3			3				
37歳	2			2				
38歳	3			3				
39歳	4			4				
40歳	1			1				
41歳	4			4				
42歳	5			5				
43歳	2				2			
44歳	3				3			
45歳	2				2			
46歳	5				5			
47歳	4				4			
48歳	3				1	2		
49歳								
50歳	1					1		
51歳	5				1	4		
52歳								
53歳	1					1		
54歳	2					2		
55歳	3					3		
56歳								
57歳	2					1	1	
58歳	1					1		
59歳	6					1	4	1
60歳								
合計人員	124	22	33	29	18	16	5	1
平均年齢	37歳	22歳	30歳	38歳	46歳	53歳	59歳	59歳

免許取得調

(令和2年4月1日現在)(単位:人)

種別 \ 階級		消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長以上	計
自動車運転免許	大型	5	33	29	15	14	3	99
	大型特殊				2	2	1	5
指導救急救命士				1		2		3
救急救命士		2	10	18	5	5	1	41
予防技術検定	防火査察		23	20	8	9	5	65
	消防用設備等		1	5	2		3	11
	危険物		1	6	2		1	10
危険物取扱者		6	31	15	6	7	5	70
消防設備士				2				2
無線資格	第1級陸上特殊無線技士			2	5	11	3	21
	第2級陸上特殊無線技士	20	33	29	18	6	3	109
	アマチュア無線				3	6	2	11
小型移動式クレーン			3	24	18	16	5	66
玉掛技能			4	25	18	16	5	68

施設

区分	所在地	建物構造・階建	建築年月	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
消防本部/葦崎消防署	葦崎市本町四丁目8番36号	SRC造 2階建	H29.4	2959.98	5,072.39
消防本部倉庫	葦崎市栄一丁目3945番地	SRC造 平屋建	S57.2	336	626.00
消防本部駐車場	葦崎市本町四丁目9番48号				1,768.86
須玉分署	北杜市須玉町藤田256番地1	RC造 2階建	S46.3	234.89	891.66
白州分署	北杜市白州町台ヶ原212番地1	RC造 2階建	S46.3	262.64	1,352.59
双葉分署	甲斐市龍地5184番地1	RC造 平屋建	H24.10	339.69	1,467.74
北杜消防署	北杜市長坂町大八田6811番地18	RC造 2階建	S46.3	444.67	1,016.69
北杜消防署訓練場	北杜市長坂町大八田6811番地17	S造	S56.6	20.53	3,008.00
高根分署	北杜市高根町箕輪新町1094番地	RC造 2階建	S46.3	262.64	1,026.25
小淵沢分署	北杜市小淵沢町732番地22	RC造 平屋建	S52.12	206.59	830.53
葦崎基地局	葦崎市本町四丁目9番48号		S60.3		81.00
穴山基地局	葦崎市穴山町6252番地7		S60.3		69.00

消防車両・装備

		消防本部	葦崎消防署	須玉分署	白州分署	双葉分署	北杜消防署	高根分署	小淵沢分署	計
消防ポンプ自動車			1	1	1		1	1	1	6
水槽付消防ポンプ自動車						1				1
はしご付消防ポンプ自動車			1							1
化学消防ポンプ自動車			1							1
救助工作車			1				1			2
小型動力ポンプ付水槽車			1				1			2
高規格救急車		1	2	1	1	1	1	1	1	9
指揮車		1	1				1			3
防災車			2				1			3
査察車		1								1
資機材搬送車		1								1
後方支援車(Ⅰ型)		1								1
ボートトレーラ			1							1
可搬式小型ポンプ			2				3			5
無線	移動式	3	9	3	3	3	5	3	3	32
	携帯式	15	14	5	5	5	10	5	5	64
加入電話		14	1	1	1	1	2	1	1	22
傍受用無線機		1	1	1	1	1	1	1	1	8
全国共通用無線機		1								1

現有車両一覧表

(令和2年4月1日現在)

区分	車両別	車名	年式	登録年月日	エンジン	ポンプ	
					排気量cc	型式	級別
消防本部	指揮車(ラントクルーサー)	トヨタ	H29	H29.3.2	4,600		
	査察車(サクシート)	トヨタ	H18	H18.10.20	1,490		
	資機材搬送車	トヨタ	R1	R1.9.25	3,635		
	本部連絡車(ハイゼット)	ダイハツ	H25	H25.11.20	650		
	本部連絡車(ノア)	トヨタ	H21	H21.8.7	1,990		
	後方支援車(Ⅰ型)	日野	H23	H23.2.22	12,910		
	非常用救急車	トヨタ	H19	H19.3.19	2,690		
菰崎消防署	はしご付消防ポンプ自動車	日野	H2	H2.3.27	6,720	モリタME-5	A-2
	化学消防ポンプ自動車	日野	H14	H14.2.18	7,960	モリタME-7A	A-2
	救助工作車(Ⅲ型)	日野	H26	H26.10.28	6,400		
	小型動力ポンプ付水槽車	日野	H13	H13.3.19	7,960	トーハツ	B-3
	消防ポンプ自動車	日野	H18	H18.3.13	4,000	モリタME-5	A-2
	高規格救急車	日産	H29	H29.1.24	3,490		
	高規格救急車	日産	H31	H31.2.15	2,480		
	指揮車	トヨタ	H12	H12.9.26	3,370		
	防災車(防災1)	日産	H14	H14.2.26	1,760		
	防災車(防災8)	日産	H22	H22.1.27	650		
	ボートトレーラー		H29	H29.7.25			
須玉分署	消防ポンプ自動車	日野	H26	H26.10.28	4,000	モリタMZI	A-2
	高規格救急車	日産	H28	H28.1.15	3,490		
白州分署	消防ポンプ自動車	日野	H30	H30.3.19	4,000	モリタMZI	A-2
	高規格救急車	トヨタ	H22	H22.3.24	2,690		
双葉分署	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H24	H24.3.12	6,400	モリタME-5	A-2
	高規格救急車	日産	H25	H25.1.15	3,490		
北杜消防署	救助工作車(Ⅱ型)	日野	H30	H30.11.5	5,120		
	小型動力ポンプ付水槽車	日野	H14	H14.10.28	7,960	トーハツ	B-3
	消防ポンプ自動車	日野	H20	H20.3.26	4,000	モリタME-5	A-2
	高規格救急車	日産	H30	H30.1.30	3,490		
	指揮車	日産	H17	H17.9.28	1,760		
	防災車(防災6)	日産	H8	H8.4.30	1,590		
高根分署	消防ポンプ自動車	日野	H27	H27.11.17	4,000	モリタMZI	A-2
	高規格救急車	日産	R2	R2.2.6	2,480		
小淵沢分署	消防ポンプ自動車	日野	H24	H24.3.12	4,000	モリタME-5	A-2
	高規格救急車	日産	H26	H26.12.15	3,490		

予算

(常備消防特別会計)

1 歳入

(単位:千円)

款	令和2年度予算	令和元年度予算	比較
	(A)	(B)	(A－B)
(1) 分担金及び負担金	1,464,287	1,207,017	257,270
(2) 使用料及び手数料	1,500	1,500	0
(3) 財産収入	94	222	△128
(4) 繰入金	2	113,826	△113,824
(5) 繰越金	1	1	0
(6) 諸収入	29,024	26,634	2,390
(7) 組合債	462,800	54,200	408,600
歳入合計	1,957,708	1,403,400	554,308

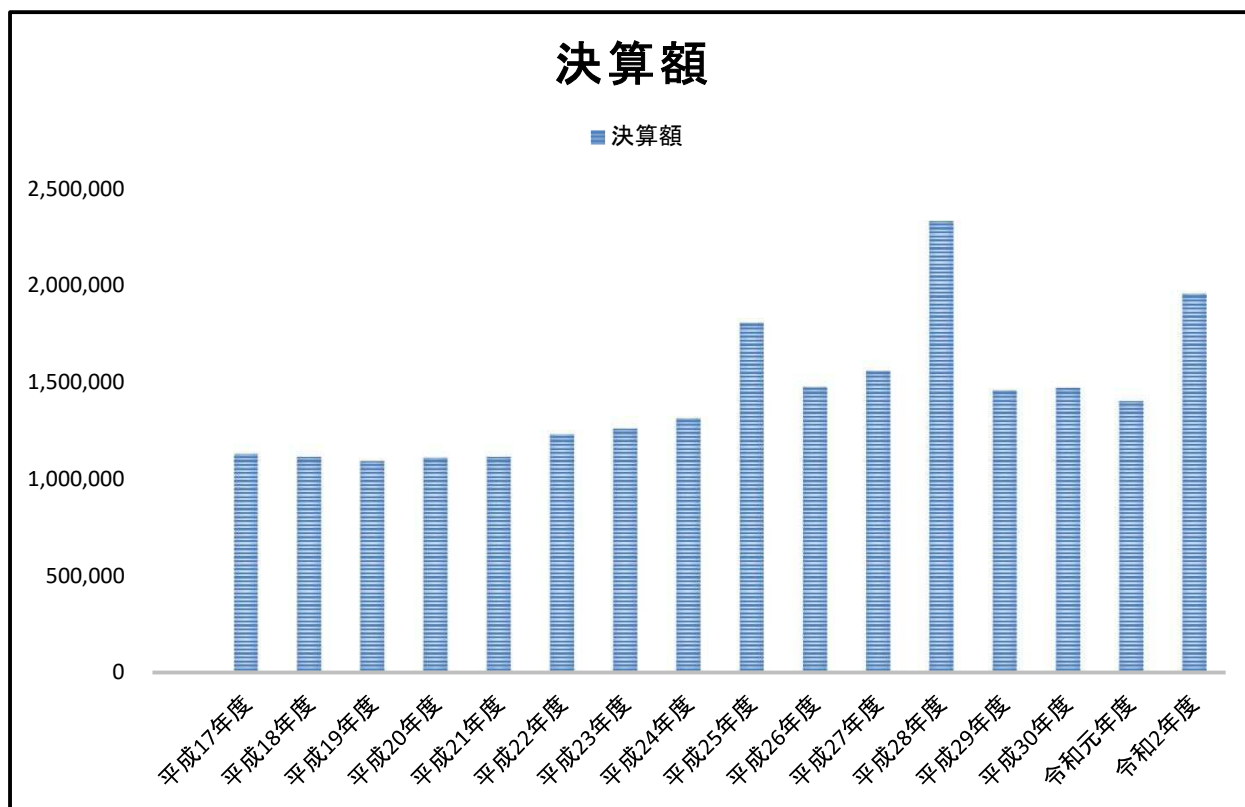
2 歳出

(単位:千円)

款	令和2年度予算額	本年度予算額の財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国庫支出金	地方債	その他	
(1) 総務費	1,659,312	—	441,100	9,660	1,208,552
(2) 警防費	116,204	—	21,700	502	94,002
(3) 公債費	117,320	—	—	—	117,320
(4) 諸支出金	61,872	—	—	80	61,792
(5) 予備費	3,000	—	—	—	3,000
歳出合計	1,957,708	—	462,800	10,242	1,484,666

予算額の推移

(単位:千円)



予算使途別比較

(単位:千円)

年度	(吏員数)	(内訳)	決算額	人件費と物件費等との比較			
				人件費	比較(%)	物件費等	比較(%)
平成17年度	(110人)		1,129,430	918,528	81.30	210,902	18.70
平成18年度	(110人)		1,114,108	935,401	84.00	178,707	16.00
平成19年度	(110人)		1,094,029	905,045	82.70	188,984	17.30
平成20年度	(113人)		1,109,531	939,162	84.60	170,369	15.40
平成21年度	(110人)		1,115,348	904,845	81.10	210,503	18.90
平成22年度	(113人)		1,231,113	923,229	75.00	307,884	25.00
平成23年度	(119人)		1,260,996	960,759	76.19	300,237	23.81
平成24年度	(126人)		1,313,528	1,020,334	77.68	293,194	22.32
平成25年度	(121人)		1,806,574	917,277	50.77	889,297	49.23
平成26年度	(121人)		1,475,937	968,562	65.62	507,375	34.38
平成27年度	(123人)		1,559,189	996,338	63.90	562,851	36.10
平成28年度	(120人)		2,333,901	966,760	41.42	1,367,141	58.58
平成29年度	(121人)		1,457,816	983,135	67.44	474,681	32.56
平成30年度	(124人)		1,470,316	986,172	67.07	484,144	32.93
令和元年度	(124人)	(当初予算)	1,403,400	1,005,089	71.62	398,311	28.38
令和2年度	(124人)	(当初予算)	1,957,708	1,039,348	53.09	918,360	46.91

世帯数、人口に対する消防予算概況

年度別 \ 区分	予算額 (千円)	1世帯当りの消防予算 (円)	人口1人当りの消防予算 (円)
平成17年度	1,121,143	31,717	11,620
平成18年度	1,132,745	31,274	11,737
平成19年度	1,108,650	29,575	11,297
平成20年度	1,099,338	29,072	11,253
平成21年度	1,103,717	28,959	11,337
平成22年度	1,145,707	30,295	11,983
平成23年度	1,289,486	33,516	13,380
平成24年度	1,321,381	34,427	13,680
平成25年度	1,205,431	30,873	12,589
平成26年度	1,201,199	30,387	12,526
平成27年度	1,323,851	33,413	13,974
平成28年度	1,406,165	35,246	14,919
平成29年度	1,397,535	34,726	14,884
平成30年度	1,435,864	35,309	15,342
令和元年度	1,403,400	34,334	15,089
令和2年度	1,957,708	47,934	21,250

※令和2年度予算額は、施設建設費用(562,780千円)を含む。

予防関係

防火対象物数及び査察状況

対象物			市別			計	査察件数
			韮崎市	北杜市	(旧 甲斐市 双葉町)		
1	イ	劇場・映画館	2	6	1	9	1
	ロ	公会堂・集会場	28	85	10	123	7
2	イ	キャバレー等		1		1	
	ロ	遊技場等	3	3	3	9	3
	ハ	性風俗店等					
	ニ	カラオケボックス等	1			1	1
3	イ	待合・料理店等	4	1		5	
	ロ	飲食店	22	87	17	126	291
4		百貨店・店舗等	49	75	24	148	49
5	イ	旅館・ホテル等	22	266	11	299	248
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	270	271	148	689	3
6	イ	(1) 次のいずれにも該当し、特に防火安全対策が必要とされる病院 ・診療科目名に特定診療科目を有する ・療養病床または一般病床を有する			1	1	
		(2) 次のいずれにも該当し、特に防火安全対策が必要とされる有床診療所 ・診療科目名に特定診療科目を有する ・4人以上の患者を入院させるための施設を有する		1		1	1
		(3) (1) 及び(2) 以外の病院、有床診療所、有床助産所	6	2		8	
		(4) 無床診療所及び無床助産院	13	7	9	29	6
	ロ	(1) 老人短期入所施設・養護老人ホーム等	10	16	9	35	23
		(2) 救護施設	1			1	
		(3) 乳児院					
		(4) 障害児入所施設	1			1	
		(5) 障害者支援施設等	4	8		12	2
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター・老人福祉センター等	10	7	4	21	12
		(2) 更生施設					
		(3) 助産施設・保育所・幼保連携型認定こども園等	6	26	4	36	33
		(4) 児童発達支援センター等		2	2	4	3
		(5) 身体障害者福祉センター等	15	17	6	38	16
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3		1	4	2
7		小学校・中学校・高等学校等	24	67	26	117	51
8		図書館・博物館等	2	29		31	7
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等					
	ロ	一般の公衆浴場等	2	10	1	13	3
10		車両の停車場・航空機の発着場等	1	3	1	5	7
11		神社・教会等	15	46	3	64	25
12	イ	工場・作業場	262	329	55	646	52
	ロ	スタジオ等					
13	イ	自動車車庫・駐車場	22	32	5	59	9
	ロ	格納庫					
14		倉庫	135	184	26	345	26
15		事務所等	143	407	46	596	70
16	イ	複合用途防火対象物(その一部が1項から4項まで、5項イ、6項又は9項イの用途に供されるもの)	76	189	30	295	153
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	50	83	11	144	30
17		重要文化財建造物	3	9	1	13	11
計			1,205	2,269	455	3,929	1,145

※ 防火対象物数は防火対象物実態調査の対象物数とする。

対象物数は令和2年3月31日現在、査察件数は平成31年4月～令和2年3月の期間。

防火対象物定期点検報告・特例認定処理状況

(令和2年3月31日現在)

用 途 別			実施率	点検を要する 防火対象物		報告済 防火対象物		特例認定済 防火対象物	
				300人 以上	その他	300人 以上	その他	300人 以上	その他
1	イ	劇場・映画館	75%	4		3			
	ロ	公会堂・集会場	86.7%	15		13			
2	イ	キャバレー等							
	ロ	遊技場等	100%	4		2		2	
	ハ	性風俗店等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合・料理店等							
	ロ	飲食店	100%	2		2			
4		百貨店・店舗等	70.0%	10		7			
5	イ	旅館・ホテル等	33.3%	2	4	1	1		
6	イ	病院・診療所等	0.0%	1					
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム等							
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等							
	ニ	幼稚園・特別支援学校							
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等							
16	イ	複合用途防火対象物	79.6%	49	5	33	4	6	
計			77.1%	87	9	61	5	8	0

防火基準適合表示制度に係る表示マーク交付状況

(令和2年3月31日現在)

市別	件数
菰崎市	
北杜市	1
甲斐市(旧双葉町)	
計	1

建築物階層別一覽表

(令和2年3月31日現在)

市別 区分	蕫崎市	北杜市	甲斐市 (旧双葉町)	計
3 階	108	186	47	341
4 階	51	43	13	107
5 階	16	24	1	41
6 階	3	5	1	9
7 階	3	4		7
8 階		1		1
計	181	263	62	506

防火管理者設置状況

(令和2年3月31日現在)

市別 区分	蕫崎市	北杜市	甲斐市 (旧双葉町)	計
防火管理者を必要とする 防火対象物	277	653	127	1057
防火管理者が選任されている 防火対象物	218	554	108	880
防火管理者選任率	78.7%	84.8%	85.0%	83.3%

建築確認同意件数

(平成31年4月～令和2年3月)

用途 \ 市別	菰崎市	北杜市	甲斐市 (旧双葉町)	計
公会堂又は集会場	4		1	5
遊技場又はダンスホール				
飲食店				
百貨店・物品販売店舗	4	3		7
旅館・ホテル				
寄宿舍・下宿・共同住宅	2	2	1	5
		1		1
病院・診療所	1			1
福祉施設等	3	2	2	7
小学校・中学校・高等学校		2	1	3
図書館・博物館・美術館				
公衆浴場の内蒸気浴場・熱気浴場				
上記に掲げる公衆浴場以外の 公衆浴場				
神社・寺院・教会				
工場・作業所	3	3		6
	6			6
映画スタジオ・テレビスタジオ				
倉庫	7	1	2	10
	4	2		6
上記用途に該当しない事業場	12	2	5	19
複合用途(特定用途含む)				
複合用途(特定用途以外)	1			1
住宅	8	3	5	16
	1	2	2	5
その他	5	1		6
	1			1
計	50	17	16	83
	12	7	3	22

上段：新築

下段：増築、改築、用途変更、計画変更

消防用設備等設置状況

(平成31年4月～令和2年3月)

市別 消防用設備別	菰崎市	北杜市	甲斐市 (旧双葉町)	計
消火器	24	54	5	83
屋内消火栓設備	2	4	1	7
スプリンクラー設備	1	3	2	6
水噴霧消火設備等	1	1		2
屋外消火栓設備	2	8		10
動力消防ポンプ設備				
自動火災報知設備	49	75	20	144
ガス漏れ火災警報設備				
漏電火災警報器	1	2		3
消防機関へ通報する 火災報知設備	2	4		6
非常警報器具・設備	25	13	1	39
避難器具	4	1		5
誘導灯・誘導標識	33	112	6	151
消防用水	1			1
排煙設備				
連結散水設備				
連結送水管				
総合操作盤				
必要とされる防火安全性能 を有する消防用設備	2	164	2	168
特殊消防用設備				
計	147	441	37	625

火災予防条例に規定する届出処理件数

(平成31年4月～令和2年3月)

条項号	内容	葦 崎 市	北 杜 市	甲 斐 市 (旧 双 葉 町)	計
条例43条	防火対象物の使用開始届	46	290	30	366
条例44条 1号	熱風炉設置届	2			2
2号	可燃性ガス又は蒸気を発生する炉設置届				
3号	据付面積2㎡以上の炉の設置届		3		3
3の2号	厨房設備の入力の合計が350kw毎時以上の厨房設備設置届	1		2	3
4号	入力70kw以上の温風暖房機設置届				
5号	ボイラー又は入力70kw以上の給湯湯沸設備設置届	4	21	3	28
6号	乾燥設備設置届		3		3
7号	サウナ設備設置届				
7の2号	入力70kw以上のヒートポンプ冷暖房機設置届				
8号	火花を生ずる設備設置届				
8の2号	放電加工機設置届				
9号	高圧又は特別高圧の変電設備設置届	18	37	12	67
10号	燃料電池発電設備設置届				
11号	内燃機関による発電設備設置届	6	5	2	13
12号	蓄電池設備設置届	9	8	1	18
13号	設備容量2KVA以上のネオン管灯設備設置届				
14号	水素ガスを充填する気球の設置届				
条例45条 1号	火災とまぎらわしい煙等の行為	45	262	40	347
2号	煙火打上げ又は仕掛け	27	73	12	112
3号	催物の開催届	3	12		15
4号	水道の断水又は減水				
5号	道路工事届	44	97	39	180
6号	露店等開設届	67	70	11	148
条例46条 1項	指定数量未満の危険物の貯蔵取扱い届	6	26	7	39
1項	指定可燃物の貯蔵取扱い届	1	8		9
計		279	915	159	1353

防火管理者資格付与講習会修了証交付状況

(令和2年3月31日現在)

年別	区分	講習会実施回数	男	女	計
累計 (昭和46年～平成21年迄)		39	3,164	643	3,807
平成22年		1	62	10	72
平成23年		1	57	15	72
平成24年		1	51	18	69
平成25年		1	46	25	71
平成26年		1	48	20	68
平成27年		1	48	21	69
平成28年		1	54	19	73
平成29年		1	44	25	69
平成30年		1	51	20	71
令和元年		1	56	14	70
計		49	3,681	830	4,511

用途別防火管理者資格付与状況

(令和元年11月14日・15日実施)

防火対象物	人員(人)	防火対象物		人員(人)
遊技場		学校等	小学校	2
料理店・飲食店	22		中学校	1
百貨店・マーケット・店舗	2		高等学校	1
宿泊施設・共同住宅	4		短期大学・専門学校	
病院・診療所	4	工場・作業所		4
保育所・幼稚園	4	官公署		9
福祉更生施設	6	その他の事業所		11
計				70

防火管理者資格付与再講習修了証交付状況

(令和2年3月31日現在)

年別	区分	実施回数	男	女	計
平成18年度		第1回	29	2	31
平成20年度		第2回	17		17
平成24年度		第3回	23	1	24
平成27年度		第4回	17	1	18
平成30年度		第5回	13	3	16
計		5	99	7	106

危険物規制対象物数

(令和2年3月31日現在)

区分 市別		貯蔵所							取扱所			製造所	計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所			小計
韮崎市		27	16		46	21		1	111	36	38	74		185
北杜市	明野町	3	3	1	7			1	15	2		2		17
	須玉町	5	5		16	3			29	8	8	16	1	46
	高根町	3	5	2	43	14			67	11	8	19		86
	長坂町	13	6		23	1			43	10	12	22	2	67
	大泉町	5	6		10	2		1	24	5	9	14	1	39
	小淵沢町	3	14		18	5			40	5	6	11		51
	白州町	12	4		10	34		2	62	10	10	20	3	85
	武川町	4	6		3	5			18	5	9	14		32
甲斐市 (旧双葉町)		2	8	1	10	15			36	8	7	15		51
計		77	73	4	186	100	0	5	445	100	107	207	7	659

危険物関係事務処理状況

(平成31年1月～令和元年12月)(単位:件)

種別 区分	設置許可	変更許可	水圧検査	水張検査	完成検査	計
給油取扱所	1	13			12	26
一般取扱所	2	10			9	21
地下タンク貯蔵所	1	3			4	8
屋外タンク貯蔵所	2	1			1	4
屋内タンク貯蔵所						
屋外貯蔵所	1				1	2
屋内貯蔵所	2				2	4
移動タンク貯蔵所	12	1			12	25
製造所		2			2	4
その他						
計	21	30			43	94

仮使用承認件数	給油取扱所	13
	一般取扱所	10
	地下タンク貯蔵所	
	屋外タンク貯蔵所	1
	屋内タンク貯蔵所	
	屋内貯蔵所	
	製造所	1
	計	25

数量別危険物貯蔵所等の数

(令和2年3月31日現在)

数量の別 製造所の別	5 倍 以下	1 0 倍 以下 5 倍 をこえ	1 0 倍 以下 5 倍 をこえ	1 0 倍 以下 5 倍 をこえ	1 0 倍 以下 5 倍 をこえ	1 0 倍 以下 5 倍 をこえ	1 0 倍 以下 5 倍 をこえ	2 0 倍 以上	計
屋内貯蔵所	36	18	10	3	7			3	77
屋外タンク貯蔵所	34	20	14	3	1			1	73
屋内タンク貯蔵所	1	1	2						4
地下タンク貯蔵所	119	33	29	4	1				186
移動タンク貯蔵所	48	3	4	42	3				100
屋外貯蔵所	4		1						5
小計	242	75	60	52	12	0		4	445
給油取扱所	7	8	27	13	17	16		12	100
一般取扱所	56	28	15	3	1			4	107
小計	63	36	42	16	18	16		16	207
製造所		1	3	3					7
計	305	112	105	71	30	16		20	659

警防関係

令和元年中における火災の概要

1 火災件数は69件で前年より11件増加

令和元年中の総火災件数は69件であり、前年に比べ11件(18.9%)の増加、1ヶ月当たり5.8件の火災が発生したことになります。

2 火災で一番多いのは建物火災とその他火災

火災を4種別に区分し、種別比率をみると、建物火災とその他火災がそれぞれ26件(37.7%)と最も多く、次いで林野火災11件(15.9%)、車両火災6件(8.7%)となっています。

3 年明けから春季に火災が多く、昼前後が要注意

火災件数を季節的にみると、火入れ・野焼きの機会が多くなる年明けから春季が非常に多く発生し、1月から4月で46件と年間の66.7%を占めています。これは年間の三分の一の期間に、年間の三分の二の火災が発生していることとなります。

時間帯でみると10時から16時に多く、42件(60.8%)の火災が発生しています。

4 出火原因の多くは「火入れ・野焼き」

出火原因で多いのは「火入れ・野焼き」の17件(24.6%)となっており、その他火災の他に、建物火災、林野火災に至ったものもあります。

5 火災による死者1名、負傷者7名

火災による死者は1名、負傷者は7名発生しました。また、火災による罹災世帯は15世帯、罹災人員は36名となっています。火災による1名の死者は、建物火災で就寝中によるもので、住宅用火災警報器の設置状況は不明となっています。

6 出火率は全国ワースト2の山梨県4.31を大幅に上回る（※出火率:人口1万人当たりの出火件数）

出火率は7.49と、全国の2.95、山梨県の4.31を大幅に上回っています。構成市別にみると、韮崎市は4.12(12件)、北杜市は10.99(51件)、甲斐市(旧双葉町)は3.62(6件)となり、北杜市の出火率は全国の3倍以上となっています。

また、火災による損害額は総額で8千万円を超えています。

7 令和元年中の火災の傾向

火災総件数69件は前年より11件増加しており、9月を前に前年の火災件数を超えています。山梨県内の火災件数(10消防本部)中の約20%を峡北消防本部が占めており、特に林野火災については、県内の約半分を占めています。

出火原因の27.5%を占める「たき火」、「火入れ・野焼き」の傾向として、その場を離れたことや、急な風にあおられ拡大し火災に至った経緯が多く、建物火災、林野火災に至ったものもあり、火入れや、野焼きの方法に問題があったこと、火を取り扱う危険性の認識不足が考えられます。

《 その火事を 防ぐあなたに 金メダル 》 2020年度全国統一防火標語

令和元年中の出動件数

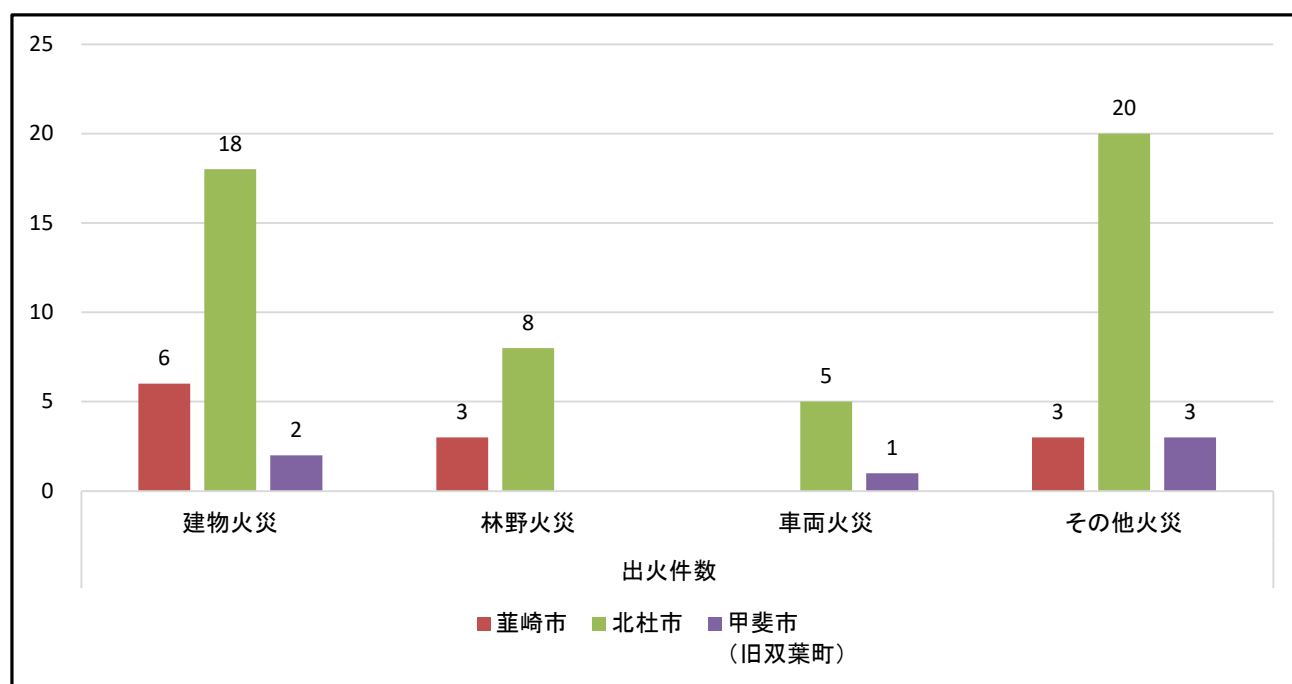
(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

	年	火災出動計	建物	林野	車両	その他
葦崎消防署	平成30年	15	4	4		7
	令和元年	12	6	3		3
	増減	△ 3	2	△ 1	0	△ 4
須玉分署	平成30年	6	1	1	1	3
	令和元年	10	2	2		6
	増減	4	1	1	△ 1	3
白州分署	平成30年	3	1		1	1
	令和元年	5	1		2	2
	増減	2	0	0	1	1
双葉分署	平成30年	3	2		1	
	令和元年	6	2		1	3
	増減	3	0	0	0	3
北杜消防署	平成30年	8	5		1	2
	令和元年	17	10	2	1	4
	増減	9	5	2	0	2
高根分署	平成30年	13	4	1	2	6
	令和元年	14	5	3	2	4
	増減	1	1	2	0	△ 2
小淵沢分署	平成30年	10	4		1	5
	令和元年	5		1		4
	増減	△ 5	△ 4	1	△ 1	△ 1
管内計	平成30年	58	21	6	7	24
	令和元年	69	26	11	6	26
	増減	11	5	5	△ 1	2
県内(概数)	平成30年	349	146	17	44	142
	令和元年	359	144	23	44	148
	増減	10	△ 2	6	0	6

管内火災内訳一覧表

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

市別		計	蕪崎市	北杜市	甲斐市 (旧双葉町)
出火件数	計	69	12	51	6
	建物火災	26	6	18	2
	林野火災	11	3	8	
	車両火災	6		5	1
	その他火災	26	3	20	3
焼損棟数	計	38	6	30	2
	全焼	15	2	12	1
	半焼	0			
	部分焼	15	3	11	1
	ぼや	8	1	7	
焼損面積	建物 床面積 (㎡)	1,418	276	1,024	118
	建物 表面積 (㎡)	61	1	60	
	林野 (a)	950	861	89	
死傷者	死者	1		1	
	負傷者	7	2	4	1
り災者	り災世帯数 (戸)	15	7	6	2
	り災人員数	36	18	11	7
損害額 (千円)	計	80,521	32,831	42,473	5,217
	建物火災	73,779	31,547	37,847	4,385
	林野火災	988	984	4	
	車両火災	1,310		1,010	300
	その他火災	4,444	300	3,612	532



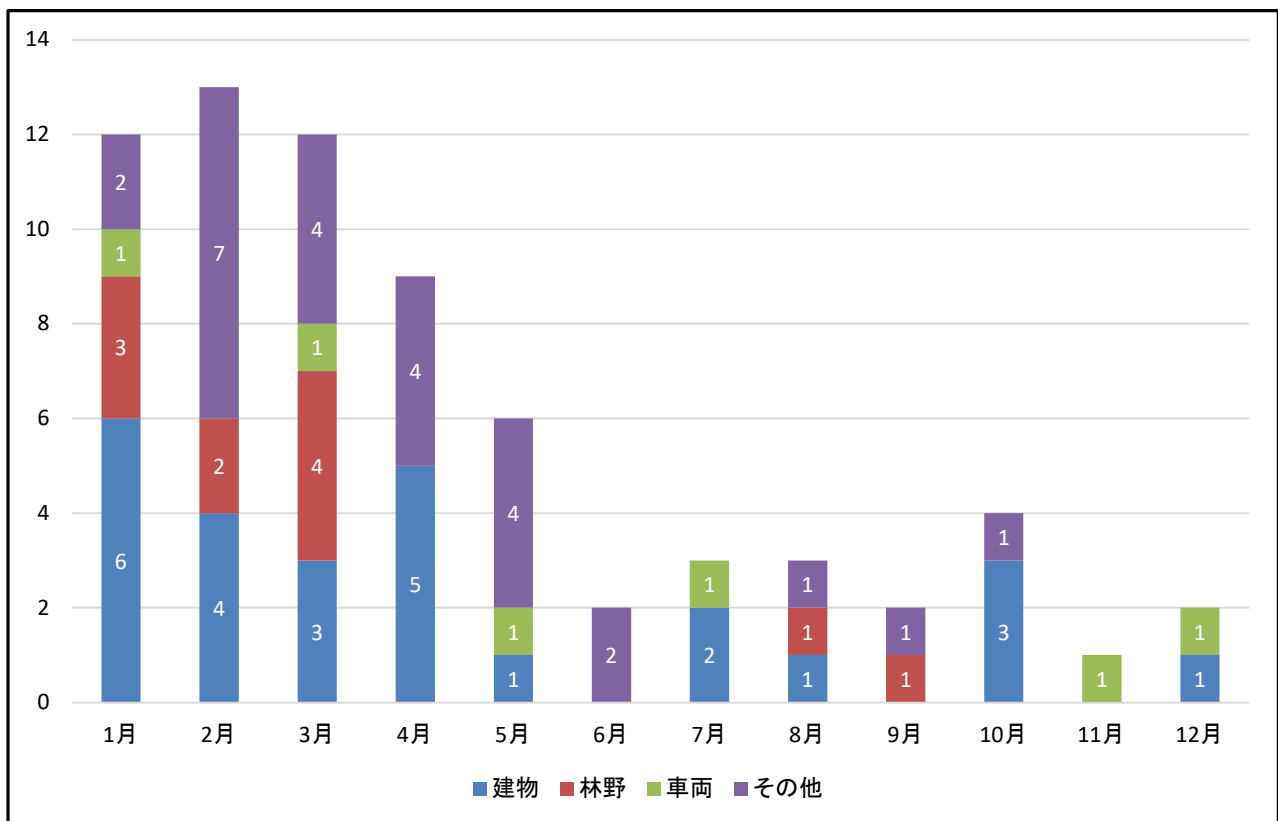
火災状況総括表（過去10年）

年	火災件数					焼 損 棟 数	り 災 世 帯	り 災 人 員	焼損面積			死者 (名)	負傷 者 (名)	損害額(千円)				
	計	建物	林野	車両	その他				建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 (a)			計	建物	林野	車両	その他
平成 22 年	54	21	5	10	18	27	13	25	1,198	10	12	2	5	72,853	68,811	0	3,956	86
平成 23 年	97	28	12	11	46	47	14	33	1,883	272	174	0	7	112,534	70,649	1,759	38,031	2,095
平成 24 年	75	31	7	6	31	51	19	58	1,916	185	51	2	14	83,722	82,087	0	1,247	388
平成 25 年	98	28	18	8	44	62	18	40	2,836	75	932	1	1	98,476	88,397	3,710	5,905	464
平成 26 年	84	33	6	7	38	47	20	39	1,869	24	337	5	16	73,729	68,919	455	4,265	90
平成 27 年	66	28	9	7	22	42	18	41	1,067	76	161	1	3	106,847	102,047	8	4,754	38
平成 28 年	59	17	7	10	25	25	15	25	1,952	37	117	1	7	386,897	382,342	195	3,824	536
平成 29 年	70	22	11	1	36	32	14	33	870	168	129	1	3	48,423	46,375	46	111	1,891
平成 30 年	58	21	6	7	24	39	20	40	1,345	144	565	0	4	46,263	41,145	2,307	1,391	1,420
令和 元年	69	26	11	6	26	38	15	36	1,418	61	950	1	7	80,521	73,779	988	1,310	4,444

月別火災発生件数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

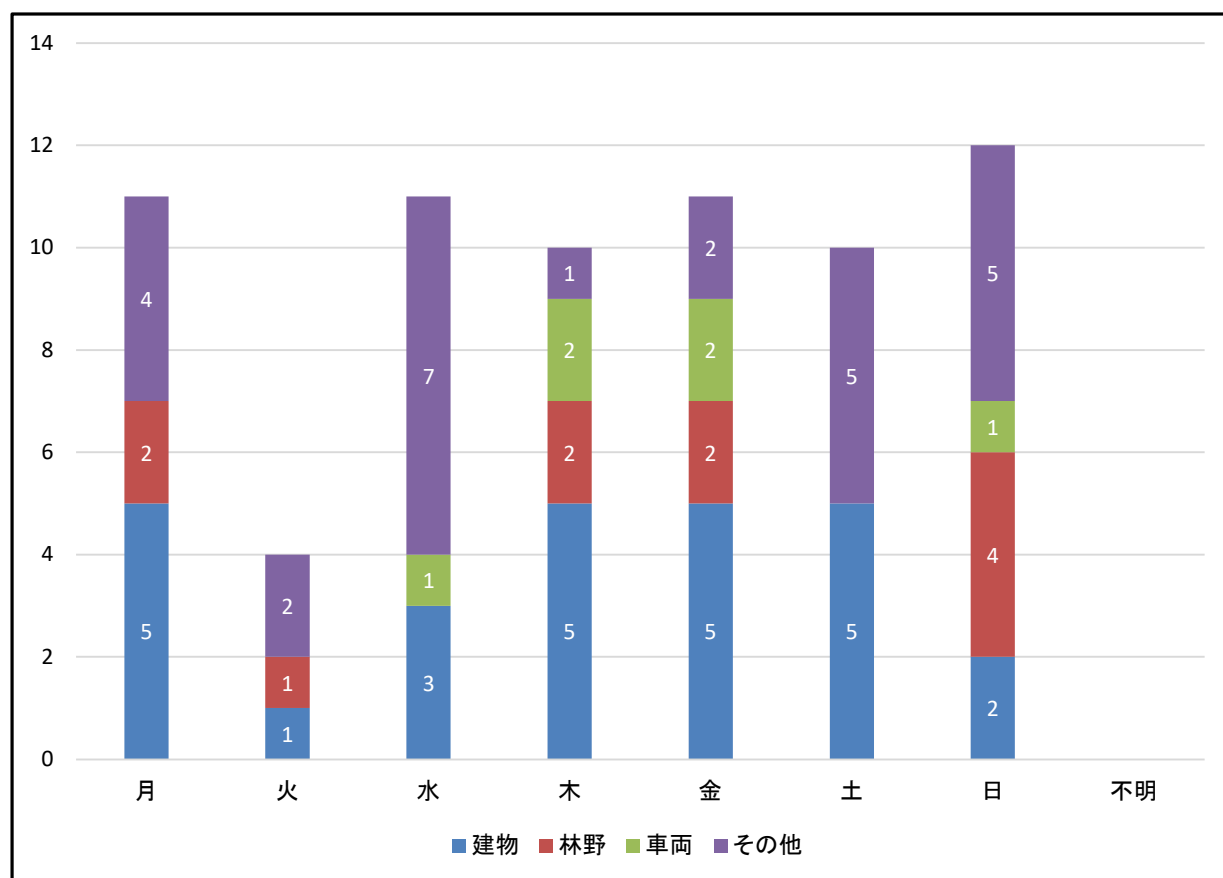
種別 月別	建物	林野	車両	その他	計
1月	6	3	1	2	12
2月	4	2		7	13
3月	3	4	1	4	12
4月	5			4	9
5月	1		1	4	6
6月				2	2
7月	2		1		3
8月	1	1		1	3
9月		1		1	2
10月	3			1	4
11月			1		1
12月	1		1		2
計	26	11	6	26	69



曜日別火災発生件数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

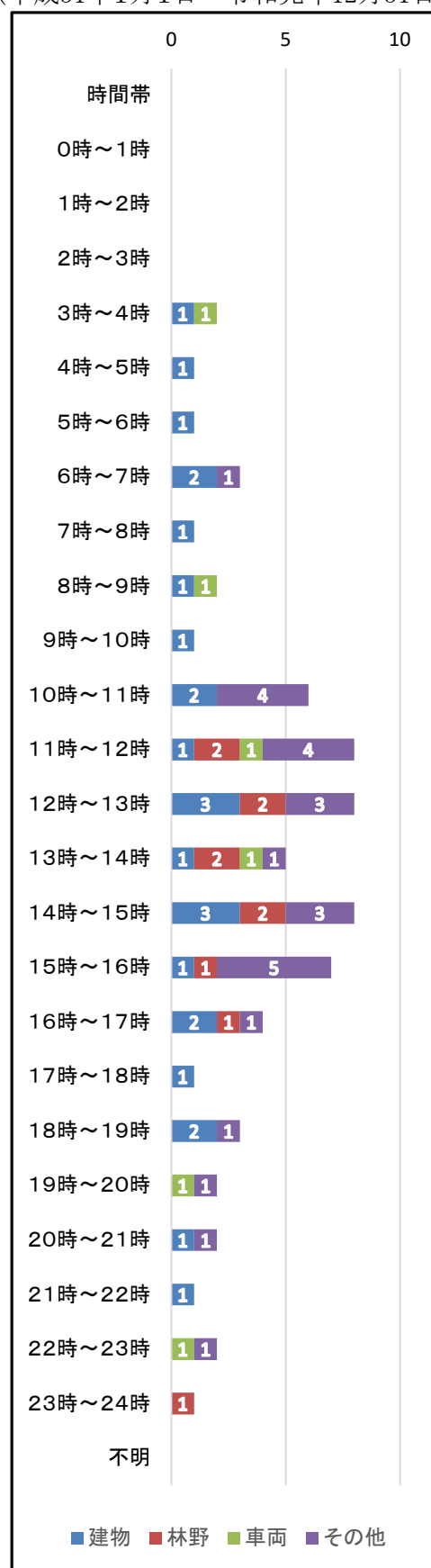
種別 曜日別	建物	林野	車両	その他	計
月	5	2		4	11
火	1	1		2	4
水	3		1	7	11
木	5	2	2	1	10
金	5	2	2	2	11
土	5			5	10
日	2	4	1	5	12
不明					0
計	26	11	6	26	69



出火時間別火災件数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

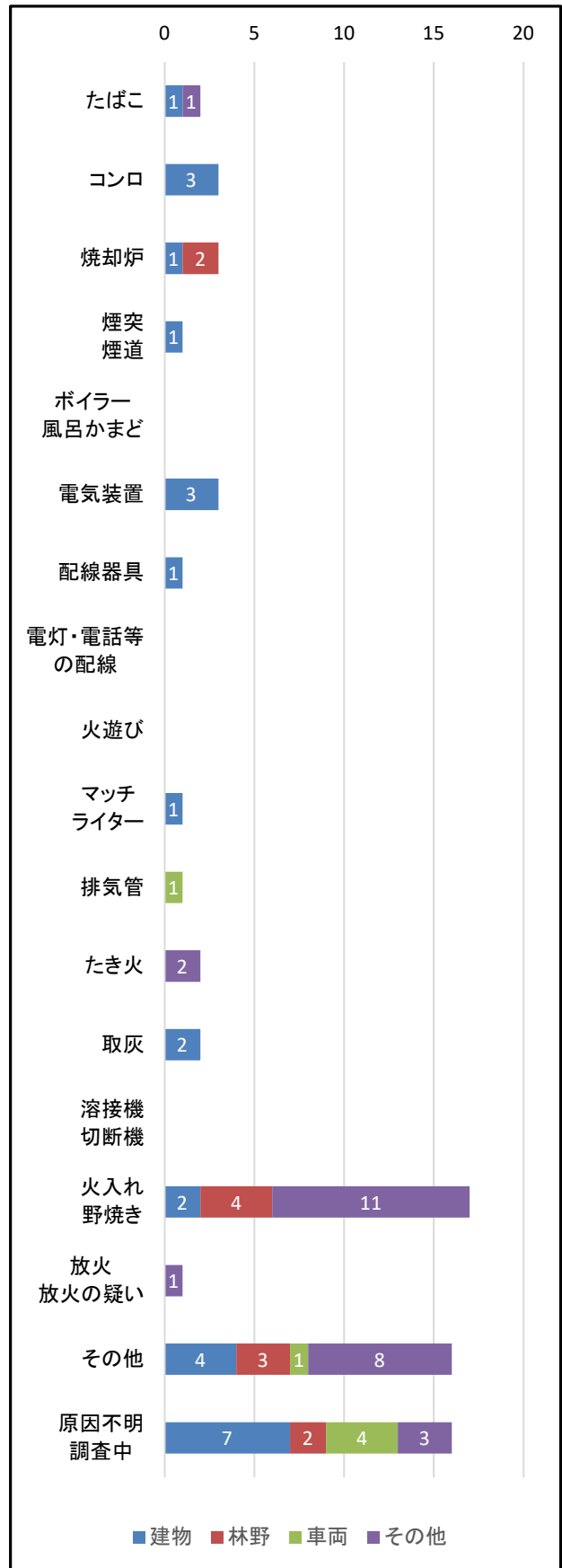
種別 時間帯	建物	林野	車両	その他	計
0時～1時					
1時～2時					
2時～3時					
3時～4時	1		1		2
4時～5時	1				1
5時～6時	1				1
6時～7時	2			1	3
7時～8時	1				1
8時～9時	1		1		2
9時～10時	1				1
10時～11時	2			4	6
11時～12時	1	2	1	4	8
12時～13時	3	2		3	8
13時～14時	1	2	1	1	5
14時～15時	3	2		3	8
15時～16時	1	1		5	7
16時～17時	2	1		1	4
17時～18時	1				1
18時～19時	2			1	3
19時～20時			1	1	2
20時～21時	1			1	2
21時～22時	1				1
22時～23時			1	1	
23時～24時		1			1
不明					
計	26	11	6	26	69



出火原因別火災発生件数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

火災種別 出火原因	建物	林野	車両	その他
たばこ	1			1
コンロ	3			
焼却炉	1	2		
煙突 煙道	1			
ボイラー 風呂かまど				
電気装置	3			
配線器具	1			
電灯・電話等 の配線				
火遊び				
マッチ ライター	1			
排気管			1	
たき火				2
取灰	2			
溶接機 切断機				
火入れ 野焼き	2	4		11
放火 放火の疑い				1
その他	4	3	1	8
原因不明 調査中	7	2	4	3



救急関係

令和元年中における救急の概要

1 救急出動件数は4,414件で、4年ぶりに前年比16件の減少

令和元年中における救急出動件数は4,414件で、前年に比べ16件減少しました。また、1日当たりの平均出動件数は、12.1件でした。

搬送人員は4,190人で、前年より13人増加しています。管内住民の約22人に1人が搬送されたこととなります。

2 最多救急出動は急病

救急事故種別出動件数及び搬送人員は、急病2,837件(64.2%)2,658人(63.4%)で全体の6割以上を占めています。次いで一般負傷712件(16.1%)681人(16.2%)、交通356件(8.1%)382人(9.1%)、その他が359件(8.1%)338人(8.1%)となっています。

前年比では、急病52件82人増加しました。一方、一般負傷は70件67人、交通事故は25件25人の減少となっています。

3 高速道路における救急出動は46件

管内には中央自動車道及び中部横断自動車道の路線があり、出動は4つのインターチェンジ、双葉スマートインターチェンジ及び八ヶ岳サービスエリア緊急開口部を利用して対応しています。

高速道路における救急出動件数及び搬送人員の内訳は、急病20件16人、交通事故23件28人一般負傷3件3人、計46件47人となっています。

4 高齢者の搬送が過半数

搬送人員の年齢は、65歳以上の高齢者が2,406人(57.4%)と、約6割となっています。次いで18歳以上65歳未満の成人が1,305人(31.1%)となっています。

5 軽症者の搬送が4割以上を占める

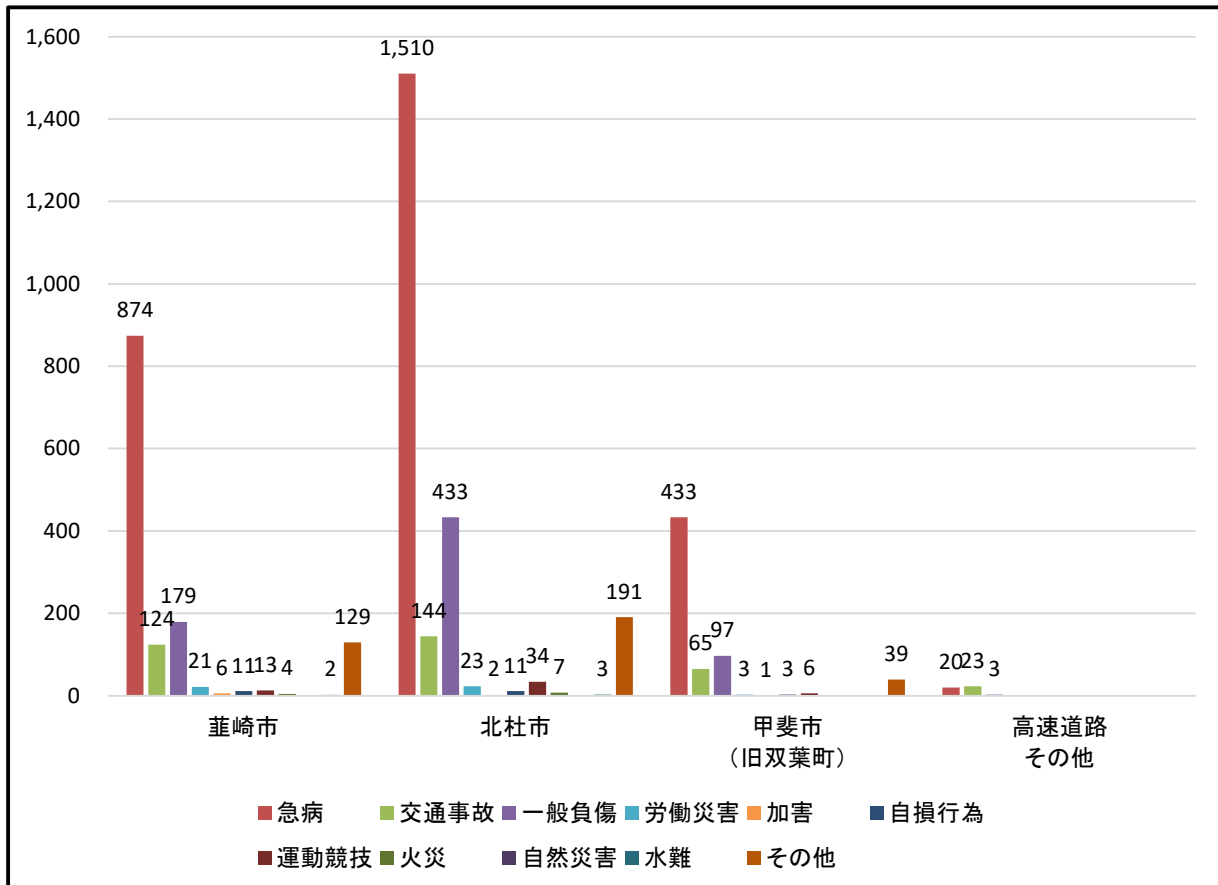
搬送人員の傷病程度は、軽症1,807人(43.1%)、中等症1,862人(44.4%)、重症447人(10.7%)、その他74人(1.8%)となっています。

市別・事故別救急出動件数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)(単位:件)

区分\市別	韮崎市	北杜市	甲斐市 (旧双葉町)	高速道路 その他	計
急病	874	1,510	433	20	2,837
交通事故	124	144	65	23	356
一般負傷	179	433	97	3	712
労働災害	21	23	3		47
加害	6	2	1		9
自損行為	11	11	3		25
運動競技	13	34	6		53
火災	4	7			11
自然災害					0
水難	2	3			5
その他	129	191	39		359
計	1,363	2,358	647	46	4,414

平成30年	1,340	2,476	565	49	4,430
平成29年	1,311	2,398	584	50	4,343
平成28年	1,297	2,417	571	40	4,316
平成27年	1,303	2,478	587	40	4,408
平成26年	1,197	2,395	547	60	4,199



月別救急活動状況(出動件数と搬送人員)

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

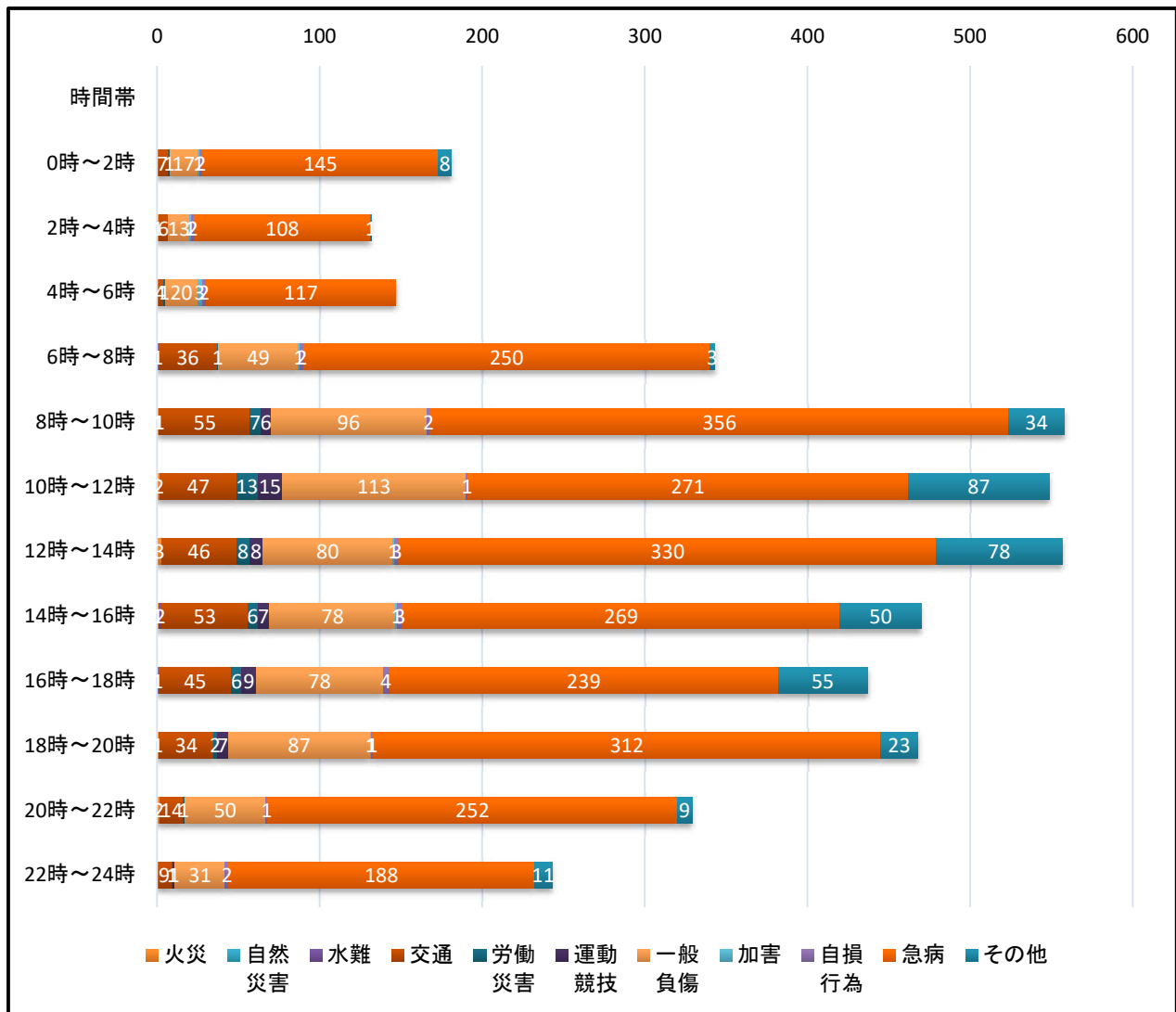
(単位 上段:件数 下段:人数)

月別	区分	計	救 急 事 故 種 別										
			火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
1	出動件数	422	1			21	4		52	2	1	311	30
	搬送人員	391	1			22	4		49	2		285	28
2	出動件数	309			1	19	4		55	1	2	217	10
	搬送人員	285				20	4		53	1	2	196	9
3	出動件数	340	1			34	6	2	53		2	211	31
	搬送人員	316	1			36	6	2	45			197	29
4	出動件数	327	2			25	4	5	53	1	1	202	34
	搬送人員	312	1			25	4	5	52	1	1	190	33
5	出動件数	350	1			33	5	9	49			228	25
	搬送人員	333	1			33	5	9	46			214	25
6	出動件数	346				29	4	4	48		2	224	35
	搬送人員	327				30	4	4	45		2	210	32
7	出動件数	357	1		1	33	4	6	71		1	215	25
	搬送人員	349	2			35	4	6	70		1	206	25
8	出動件数	514	1		2	44	4	5	87	2	5	319	45
	搬送人員	496				52	4	5	82	1	4	306	42
9	出動件数	344				21	3	5	72	2	4	210	27
	搬送人員	325				21	3	5	67	2	3	201	23
10	出動件数	355	3			21	5	6	63		1	235	21
	搬送人員	344				25	5	6	63			224	21
11	出動件数	378			1	42	4	6	56		4	235	30
	搬送人員	358			1	44	4	4	56		3	218	28
12	出動件数	372	1			34		5	53	1	2	230	46
	搬送人員	354				39		5	53	1	2	211	43
計	出動件数	4,414	11	0	5	356	47	53	712	9	25	2,837	359
	搬送人員	4,190	6	0	1	382	47	51	681	8	18	2,658	338

時間別救急出動件数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)(単位:件)

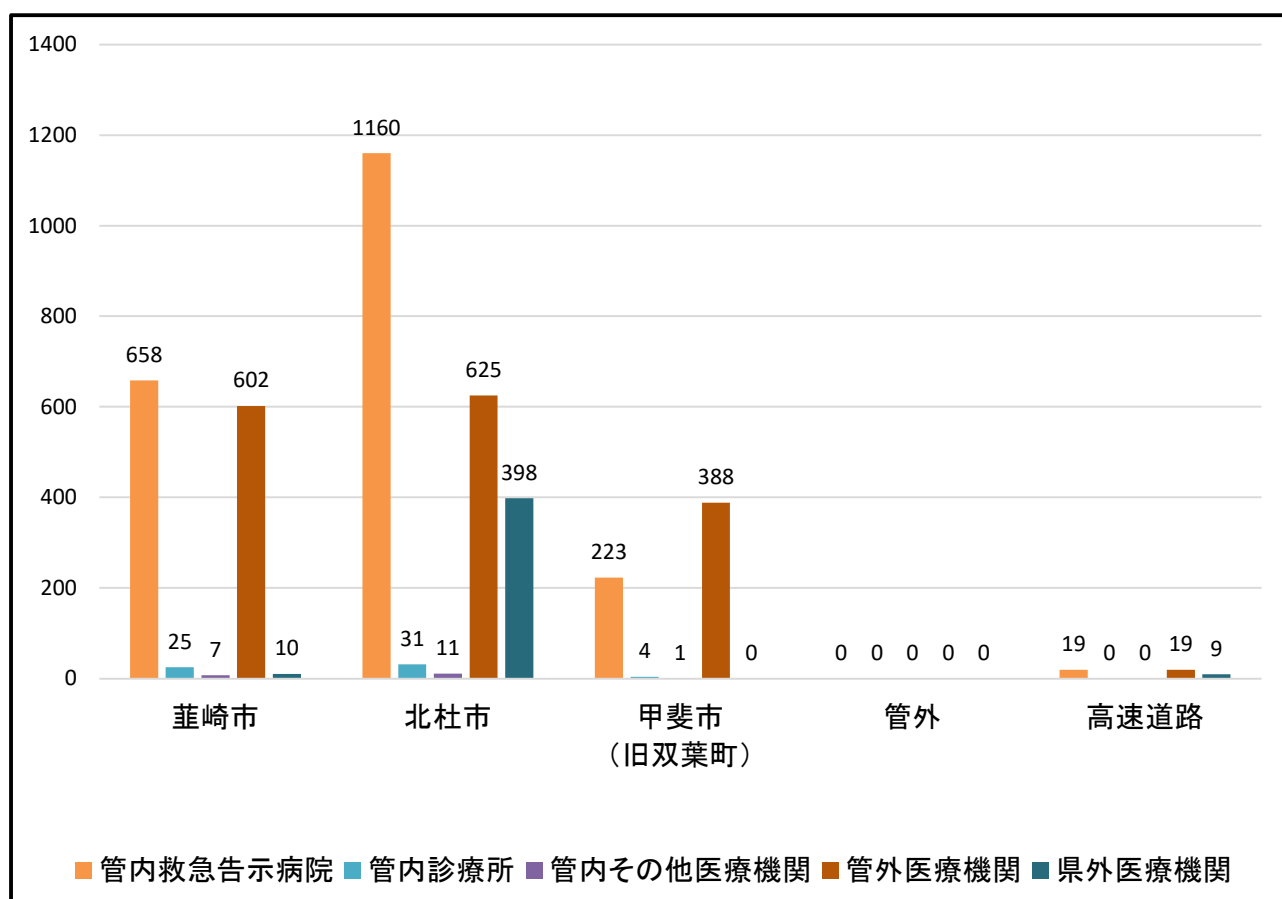
種別 時間帯	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
0時～2時				7	1		17	1	2	145	8	181
2時～4時	1			6			13	1	2	108	1	132
4時～6時				4	1		20	3	2	117		147
6時～8時			1	36	1		49	1	2	250	3	343
8時～10時	1		1	55	7	6	96		2	356	34	558
10時～12時	2			47	13	15	113		1	271	87	549
12時～14時	3			46	8	8	80	1	3	330	78	557
14時～16時	1		2	53	6	7	78	1	3	269	50	470
16時～18時			1	45	6	9	78		4	239	55	437
18時～20時	1			34	2	7	87	1	1	312	23	468
20時～22時	2			14	1		50		1	252	9	329
22時～24時				9	1	1	31		2	188	11	243
計	11	0	5	356	47	53	712	9	25	2837	359	4414



医療機関別搬送人員状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)(単位:人)

区分	韮崎市	北杜市	甲斐市 (旧双葉町)	管外	高速道路	計	前年同期	
							前年	増減
管内救急告示病院	658	1160	223	0	19	2060	2188	△ 128
管内診療所	25	31	4	0	0	60	55	5
管内その他医療機関	7	11	1	0	0	19	12	7
管外医療機関	602	625	388	0	19	1634	1473	161
県外医療機関	10	398	0	0	9	417	449	△ 32
計	1302	2225	616	0	47	4190	4177	13

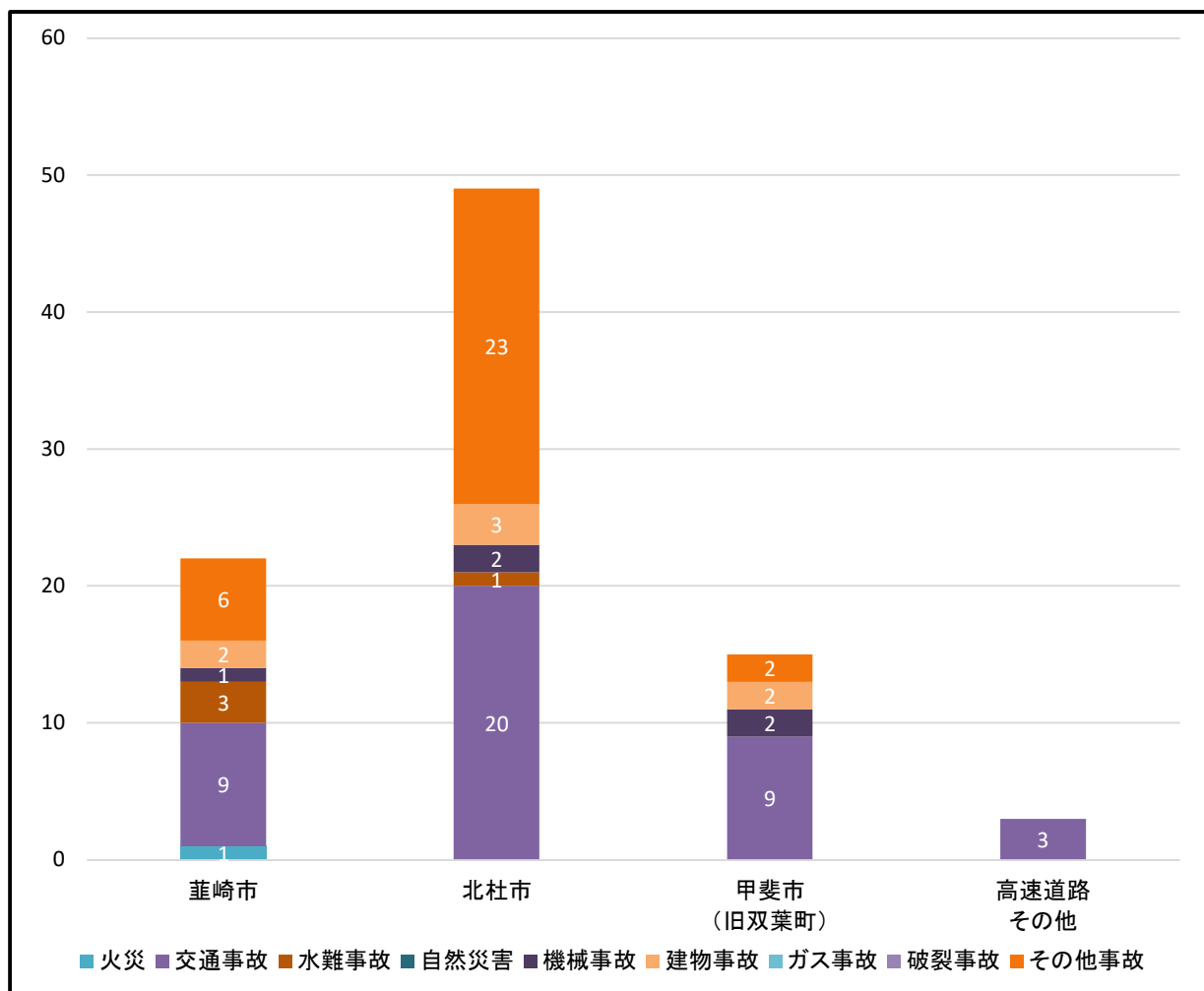


救助関係

市別・事故別救助出動件数

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

区分 \ 市別	菰崎市	北杜市	甲斐市 (旧双葉町)	高速道路 その他	計
火災	1				1
交通事故	9	20	9	3	41
水難事故	3	1			4
自然災害					0
機械事故	1	2	2		5
建物事故	2	3	2		7
ガス事故					0
破裂事故					0
その他事故	6	23	2		31
計	22	49	15	3	89



救助活動のための機械器具等の保有状況

品 名	数量	品 名	数量
(一般救助用器具)		放射線測定器	
かぎ付きはしご	2	(呼吸保護用器具)	
三連はしご	2	空気呼吸器	8
金属製折りたたみはしご又はワイヤー	2	酸素呼吸器	6
空気式救助マット	2	防塵マスク	9
救命索発射銃	7	送排風機	2
サバイバースリング又は救命用縛帯	7	(隊員保護用器具)	
平担架	7	耐電手袋	8
(重量物排除用器具)		耐電衣	4
油圧ジャッキ	3	耐電ズボン	4
油圧スプレッダー	2	耐電長靴	4
可搬ウィンチ	2	防毒マスク	1
マンホール救助器具	2	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	12
マット型空気ジャッキ	2	陽圧式化学防護服	7
大型油圧スプレッダー	2	放射線防護服	1
救助用支柱器具	1	(水難救助用器具)	
チェンブロック	2	水難救助器具一式	1
(切断用器具)		救命ボート	2
エンジンカッター	3	(山岳救助用器具)	
ガス溶断器	2	登山器具	1
チェーンソー	2	バスケット型担架	2
鉄線カッター	2	(検索用器具)	
空気鋸	2	画像探索機Ⅰ型	1
大型油圧切断機	2	画像探索機Ⅱ型	2
空気切断機	2	地中音響探知機	1
コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	熱画像直視装置	1
(破壊用器具)		夜間用暗視装置	1
万能斧	3	電磁波探査装置	1
ハンマー	2	地震警報器	1
携帯用コンクリート破壊器具	2	(その他の救助用器具)	
削岩機	1	投光器	2
ハンマードリル	2	携帯投光器	3
(測定用器具)		車両移動器具	1
可燃性ガス測定器	6	緩降機	2
有毒ガス測定器	2	都市型救助資機材	2
酸素濃度測定器	6	発電機	2

通信関係

119番受信状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

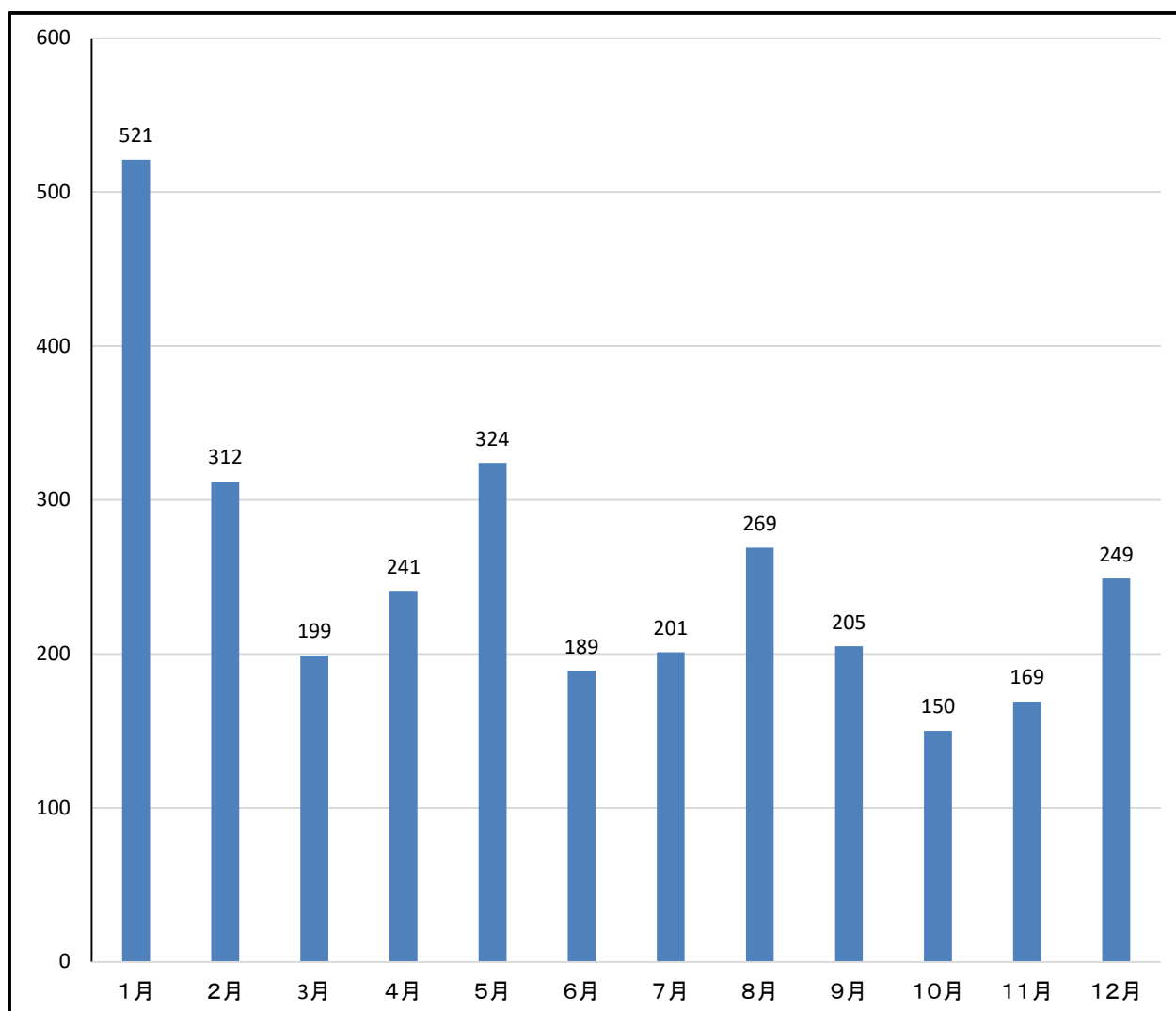
月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災 特命	21	26	22	13	12	16	11	12	7	15	11	7	173
救急 救助	376	293	302	288	309	312	325	453	315	326	349	327	3,975
間違い	17	9	21	21	23	12	21	18	14	24	11	18	209
問合せ 相談	50	45	46	42	43	46	49	92	61	37	46	47	604
いたずら	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	5
119番試験 通報試験	18	33	32	38	44	54	53	32	70	27	57	33	491
辞退 無言等 その他	99	85	102	58	118	69	75	109	64	89	68	50	986
計	582	491	525	460	549	509	535	717	531	519	543	482	6,443

月別テレホンガイド利用状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	521	312	199	241	324	189	201	269	205	150	169	249	3,029

※救急当番医療テレホンサービス

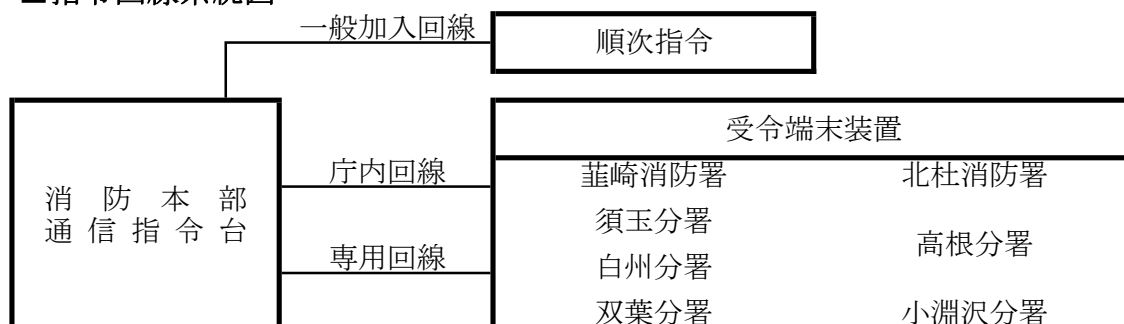


消防通信系統図

■119番入電系統図

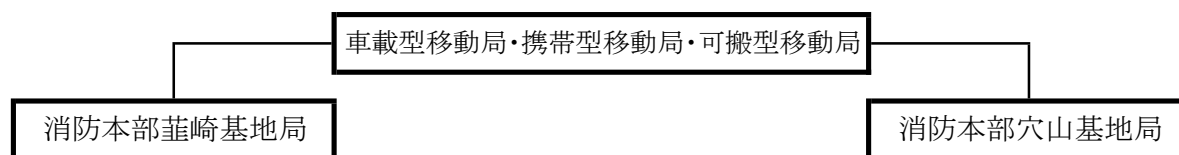


■指令回線系統図



■無線系統図

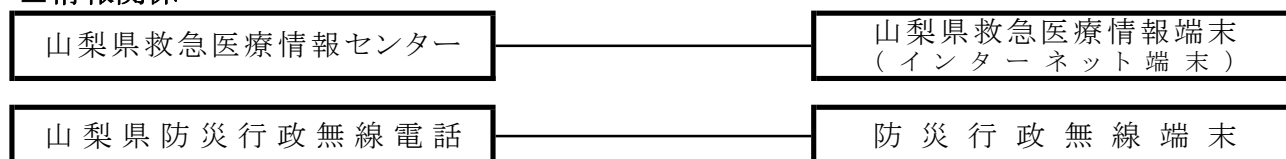
消防用業務無線(デジタル)260MHz帯



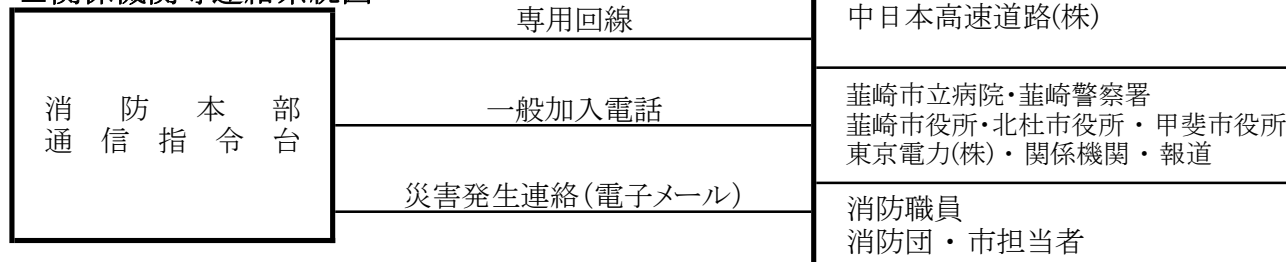
■電話関係



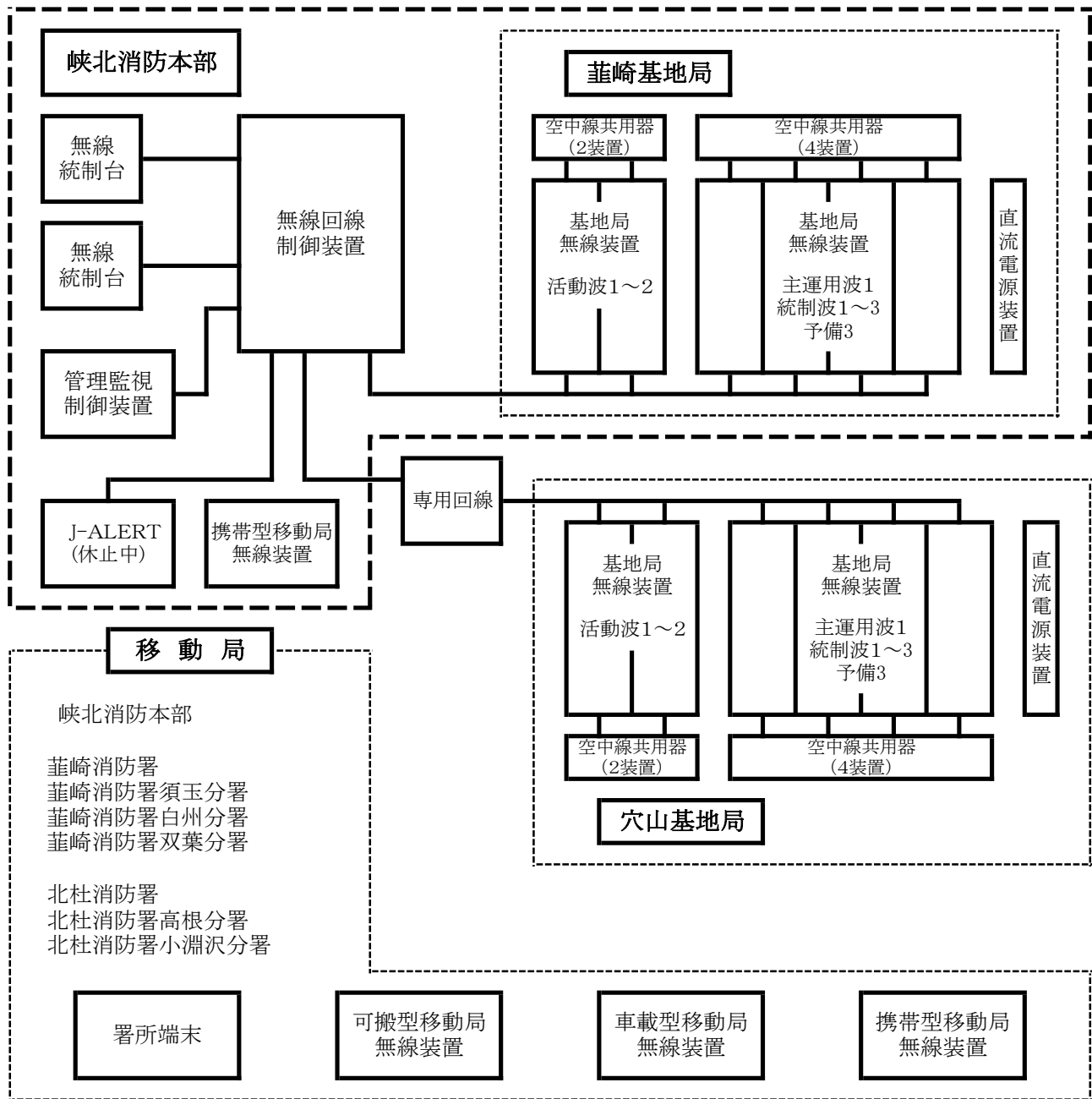
■情報関係



■関係機関等連絡系統図



消防救急デジタル無線システム系統図



消防無線配置状況

消防救急デジタル無線

260MHz帯

無線局	局数	実装無線波数			構成
峡北消防(穴山)	1局	活動波1.2	主運用波	統制波1.2.3	現用.予備
峡北消防葦崎	1局	活動波1.2	主運用波	統制波1.2.3	現用.予備
移動局					
車載型移動局	34局	活動波1.2	主運用波1～7	統制波1.2.3	
携帯型移動局	64局	活動波1.2	主運用波1～7	統制波1.2.3	
可搬型移動局	8局	活動波1.2	主運用波1～7	統制波1.2.3	

気象関係

警報・注意報等発表状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

種類		月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
警報	暴風											1			1
	大雨					1		1	4	1	2				9
	大雪														0
	洪水								1			3			4
	小計					1		2	4	1	6				14
注意報	強風	7	3	3	3						1	3	1	2	23
	大雨					3	6	17	11	6	9				52
	大雪	1			1									1	3
	洪水					1	1	6	4	3	6				21
	着雪	1			1									1	3
	乾燥	2	6	5	3	5									21
	濃霧		3		1	2	1	1		1	3	3	7		22
	霜			15	19	4									38
	なだれ														0
	低温	1	1												2
	雷			5	5	11	11	13	8	10	5	1	1		70
	小計	12	13	28	33	26	19	37	23	21	26	5	12		255
合計		12	13	28	33	27	19	39	27	22	32	5	12		269

※継続は除く

(参考: 甲府地方気象台発表データ)

気象状況調

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

種別 月別	気温 (℃)			風速 (m/s)		相対湿度 (%)		実効湿度 (%)		降水量 (mm)
	最低	最高	平均	最大瞬間	平均	最小	平均	最小	平均	
1月	-6.4	13.8	2.8	22.4	2.9	8.6	46.1	37.6	45.2	14.5
2月	-4.8	17.8	5.2	22.0	2.7	10.5	53.3	41.4	52.2	39.5
3月	-2.4	22.7	8.4	21.1	2.8	6.3	52.6	36.7	53.2	72.0
4月	-1.6	27.1	12.4	21.5	3.0	4.7	54.1	32.3	52.4	58.5
5月	3.7	33.9	18.1	17.9	2.5	9.9	60.1	50.4	60.6	82.5
6月	12.4	32.8	21.0	15.5	2.0	18.0	74.9	64.4	73.0	115.0
7月	17.6	35.5	23.8	14.1	1.5	42.5	85.0	79.9	85.1	166.0
8月	20.5	36.7	26.8	14.9	1.8	33.8	79.0	72.0	78.5	98.0
9月	14.7	35.8	24.0	17.0	1.9	25.5	73.7	64.2	74.5	64.5
10月	9.7	30.5	18.0	34.6	1.9	32.2	78.6	68.6	77.8	345.5
11月	-1.8	23.9	10.8	19.4	2.1	21.6	67.8	56.8	68.8	37.5
12月	-2.1	16.7	6.1	21.3	2.1	20.8	65.8	55.5	65.2	37.5
年間	-6.4	36.7	14.8	34.6	2.3	4.7	65.9	32.3	65.5	1131.0

(計測値 峡北消防本部)

その他

署所別業務概要

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

内容 種別		火災	風水害	演習・訓練	救急	救助活動	広報・指導
韮崎消防署	出動	12	3	9	1,320	41	63
	延人数	120	8	39	4,126	140	208
須玉分署	出動	10		1	561		44
	延人数	104		6	1,683		145
白州分署	出動	5			453		28
	延人数	54			1,360		89
双葉分署	出動	6			560		8
	延人数	50			1,683		27
北杜消防署	出動	17			630	48	57
	延人数	130			1,914	159	182
高根分署	出動	14		1	486		21
	延人数	145		3	1,458		69
小淵沢分署	出動	5		1	404		22
	延人数	39		7	1,212		71
出動回数計		69	3	12	4,414	89	243
延人数計		642	8	55	13,436	299	791

内容 種別		警防調査	火災調査	特別警戒	予防査察	誤報等	その他
韮崎消防署	出動	8	12	8	192	10	323
	延人数	23	72	21	501	75	906
須玉分署	出動		10	4	100	5	46
	延人数		36	13	356	18	137
白州分署	出動	78	5	5	132	5	16
	延人数	234	15	14	424	21	48
双葉分署	出動	1	6	3	135	2	10
	延人数	3	32	10	498	17	30
北杜消防署	出動		17	9	319	8	202
	延人数		102	25	1,019	50	601
高根分署	出動	32	14	8	160	9	51
	延人数	96	52	22	436	27	152
小淵沢分署	出動	39	5	6	107	6	23
	延人数	118	15	18	271	30	71
出動回数計		158	69	43	1,145	45	671
延人数計		474	324	123	3,505	238	1,945

消 防 年 報 （ 令 和 元 年 版 ）

令和2年6月1日発行

峡北広域行政事務組合消防本部

山梨県韮崎市本町四丁目8－36

TEL 0551(22)0119（代表）

FAX 0551(22)8747

<http://www.kyohoku-koiki.jp/>
